

平成 26 年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
II	笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目	3
1	教育委員会の運営状況	5
2	教育委員会が管理・執行する事務	15
3	教育行政重点施策	17
○	自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	17
・	自立した子どもの育成	17
・	豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成	21
・	安心して学習できる教育環境づくり	25
・	人権教育の推進	30
・	学校施設等の整備	32
○	心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進	35
・	生涯学習による人づくりまちづくり	35
・	青少年の健全育成	39
・	人権教育・啓発の推進	43
○	創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用	45
・	芸術文化活動の普及・振興	45
・	文化財の保護・保存と継承	49
○	豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上	51
・	生涯スポーツの推進	51
・	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と活用	54
・	競技スポーツの推進	55
III	評価委員の総合評価	58
IV	資料	64

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第6次笠岡市総合計画実施計画(平成26～28年度)に掲げた「安全で快適なまちづくり」及び「心豊かな人づくり」の取組のうち主なもの
- ③ 「笠岡市教育行政重点目標」に掲げた主要施策の事務・事業のうち主なもの

(2) 方法

平成26年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

① 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理執行する事務及び重点目標に掲げた主要施策を記載

② 目標

点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載

③ 事業概要

点検・評価項目の事務事業及び施策について、その概要を記載

④ 取組状況

点検・評価項目の事務事業及び施策について、目標を達成するための具体的な取組状況を記載

⑤ 成果

実施した事務事業及び施策の成果について、具体的に記載

⑥ 課題・方向性

今後の課題・改善点及び方向性等について記載

⑦ 自己評価

目標に対する達成度や効果等について、評価を記載

<評価指標>

- A：予定どおり目標が達成された。
- B：概ね達成された。
- C：やや目標に達成できなかった。
- D：達成できなかった。努力を要する。

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

松 畑 熙 一	中国学園大学学長
佐 藤 芳 子	岡山県公安委員会委員
竹之内 金 太	ノートルダム清心女子大学入試広報部長

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

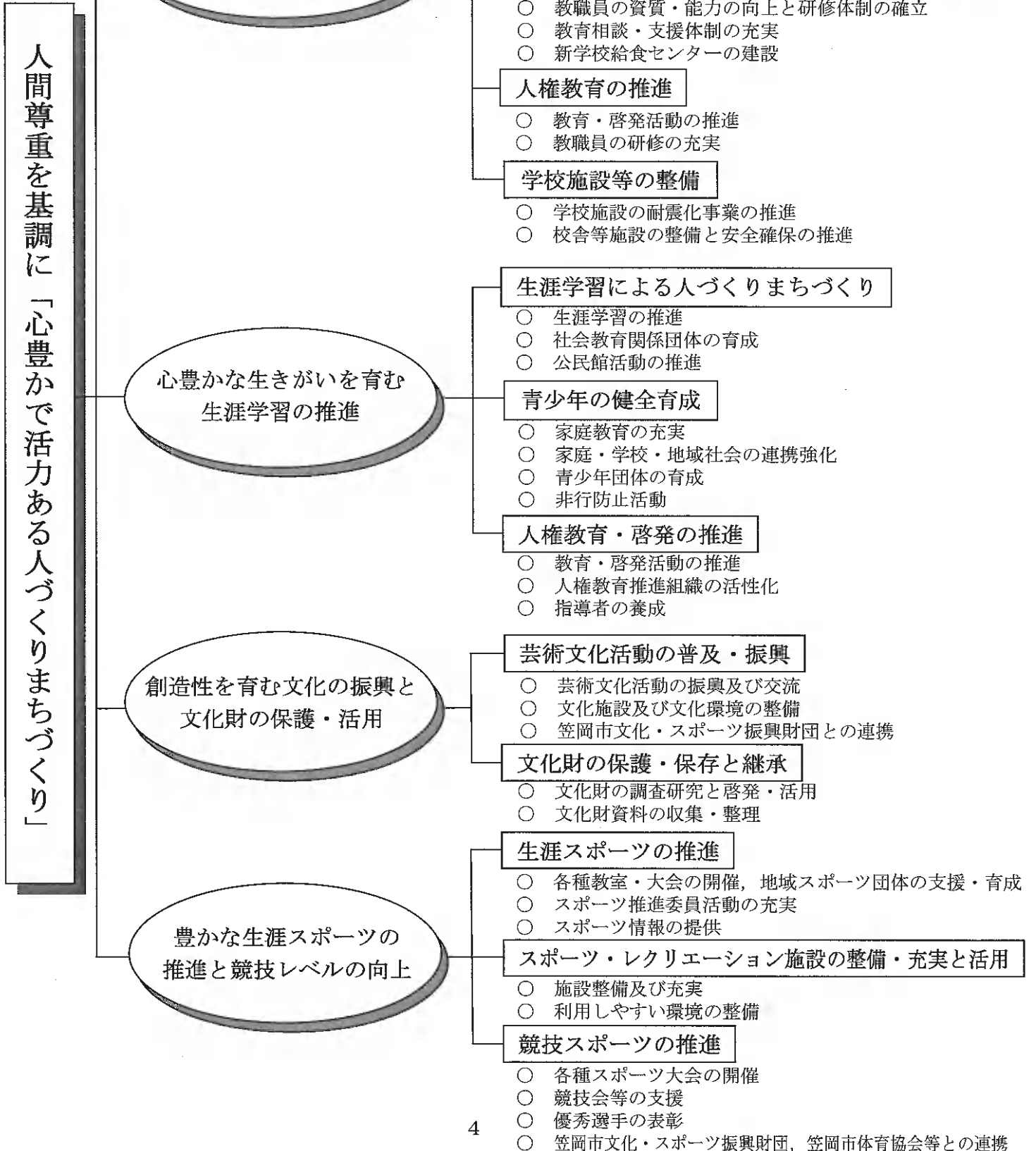
1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営
 - 教育委員会定例会及び臨時会の開催
- (2) 教育委員会の活動
 - 予算について市長意見聴取
 - 市議会への出席
- (3) 教育委員の研修等
 - 研修会, その他各種行事・会議への出席
- (4) 学校及び教育施設への支援
 - 教育委員による学校・教育施設訪問
 - 教育委員と教職員の懇談会
 - 教育委員による学校給食訪問

2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針
 - 平成26年度「笠岡市教育行政基本方針」を策定
- (2) 規則等の改廃
 - 規則, 要綱, 規程等の制定・改正等
- (3) 議会の議決を経るべき議案
 - 条例等の議案を審議
- (4) 教育関係予算
 - 教育行政に関する予算を審議
- (5) 教育委員会の所管に属する学校, その他の教育機関の設置又は廃止
 - 設置又は廃止を審議
- (6) 職員の任免に関すること
 - 教育委員会事務局職員の人事異動, 小・中学校長等の人事異動の内申について審議
- (7) 教科用図書の採択の決定に関すること
 - 教科用図書の採択
- (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱
 - 諮問機関の委員の委嘱
- (9) 市重要文化財の指定及び解除
 - 市重要文化財の指定及び解除を審議
- (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成
 - 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し, 報告書の作成, 議会へ報告, 公表

3 教育行政重点施策



1 教育委員会の運営状況

教育委員

(H27. 3. 31 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	廣井 滋季	H22. 5. 21	H24. 12. 17~H28. 12. 16
委員長職務代理者	三谷 信恵	H20. 10. 1	H24. 10. 1~H28. 9. 30
委員	谷 喜一朗	H13. 10. 4	H25. 10. 4~H29. 10. 3
委員	藤井 正敏	H19. 12. 11	H23. 12. 11~H27. 12. 10
教育長	浅野 文生	H21. 10. 1	H27. 1. 23~H31. 1. 22

(1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回 (前年12回)

教育委員会臨時会 6回 (前年 5回)

月日	定例会又は臨時会	議案	報告	協議報告・その他
4月15日	臨時会			2
4月24日	定例会	1	2	6
5月22日	定例会	3	1	3
6月26日	定例会	3	3	3
7月22日	定例会		1	6
8月7日	臨時会	2		1
8月21日	定例会	5	3	2
9月25日	定例会	3		9
10月23日	定例会	3		12
11月20日	定例会	1	1	3
12月19日	定例会	2	1	4
1月16日	臨時会	1		1
1月29日	定例会	1		6
2月17日	定例会	1	1	2
3月2日	臨時会	1		
3月16日	臨時会	4		
3月19日	定例会	2		1
3月30日	臨時会	11		1
計	18回	44	13	62

会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて6回開催し、計18回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等、開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し、地域に求められる活動を進めている。なお、定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で、今日的・緊急的課題について、非公式協議や意見交換を随時行っている。

① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月24日	① 平成26年度教育行政重点目標について ② 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 教育長の専決処分した笠岡市スポーツ推進委員の委嘱について
5月22日	① 笠岡市文化財保護委員の委嘱について ② 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について ③ 学校評議員の委嘱について ④ 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について
6月26日	① 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ② 笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について ③ 笠岡市人権教育推進委員会委員の委嘱について ④ 教育長の専決処分した笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員の委嘱について ⑤ 教育長の専決処分した笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について ⑥ 教育長の専決処分した笠岡市教育集会所運営委員会委員の委嘱について
7月22日	① 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
8月 7日	① 平成27年度使用小学校教科用図書の採択について ② 感謝状の贈呈について
8月21日	① 笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ② 笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について ③ 笠岡市わくわくシーサイドスクール実施要綱の一部を改正する要綱について ④ 笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について ⑤ 平成25年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について ⑥ 教育長の専決処分した笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について

	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 教育長の専決処分した笠岡市社会教育委員の委嘱について ⑧ 教育長の専決処分した公民館主事の任命について
9月25日	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育委員会委員長の選挙について ② 教育委員会委員長職務代理者の選挙について ③ 感謝状の贈呈について
10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について ② 笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について ③ 平成26年度笠岡市一般会計12月補正予算（教育関係）について
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成26年度末校長・教員等人事異動内申方針について ② 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について
12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度笠岡市一般会計予算要求（教育関係）について ② 笠岡市立神島外小学校転入学特別制度実施要綱の制定について ③ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市教育委員会教育長の任命について
1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市学校給食センター整備計画（案）について
2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市立学校管理規則の一部を改正する規則について ② 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について
3月 2日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市教育委員会委員の辞職同意について
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ① 小・中学校長等の人事異動の内申について ② 幼稚園長等の人事異動について ③ 教育委員会事務局職員の人事異動について ④ 感謝状の贈呈について
3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区公民館長・主事の任命及び運営審議会委員の委嘱について ② 感謝状の贈呈について
3月30日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について ② 笠岡市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について ③ 笠岡市教育委員会会議傍聴規則の一部を改正する規則について ④ 笠岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について ⑤ 笠岡市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則について ⑥ 笠岡市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について ⑦ 笠岡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について ⑨ 笠岡市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について ⑩ 笠岡市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について ⑪ 笠岡市学校給食センター建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について
--	---

② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協 議 報 告 事 項
4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育長懇談会の論点に関する協議について ② 平成26年度教育行政重点目標（案）について
4月24日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市いじめ問題対策基本方針及びそれに伴う組織編成について ② 平成26年度校長・教頭・養護・事務一覧について ③ 平成26年度幼小中在籍数について ④ 平成26年度笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所等研究指定校園について ⑤ 笠岡市井笠鉄道記念館について ⑥ 「神島のホフマン窯」報告書について
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ① 木山捷平短編小説賞作品募集について ② 笠岡市木山捷平文学選奨作品募集について ③ 学校規模適正化に係る説明会日程について
6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ① 「笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画書」に基づく保護者及び地域住民への説明会について ② 平成26年度笠岡の教育について ③ 笠岡市人権教育講演会について
7月22日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成26年度岡山県学力学習状況調査について ② 平成27年度使用小学校教科用図書候補について ③ 平成26年度防災キャンプ推進事業について ④ 平成25年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書（案）について ⑤ 学校等教育施設訪問について ⑥ 6月定例市議会（個人）質問について
8月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成25年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書（案）について
8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ① 「かさおかサマーチャレンジ学習支援事業」について ② 森谷南人子作品の寄贈について

9月25日	<ul style="list-style-type: none"> ① 9月定例会市議会（代表・個人）質問について ② 平成26年度「全国学力・学習状況調査結果」笠岡市の概要と今後の取組について ③ 平成26年度「いきいきオープンスクール」について ④ 平成26年度中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」について ⑤ 平成25年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について ⑥ 教育委員の視察先について ⑦ 学校等教育施設訪問について ⑧ 平成25・26年度笠岡市教育研修所研究指定校について ⑨ 清水比庵作品の寄贈について
10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査について ② 平成26年度笠岡市内小・中学校「いきいきオープンスクール」の開催日時について ③ 学校等教育施設訪問（中期）結果について ④ 第10回笠岡市青少年スピーチコンテストについて ⑤ 森田思軒顕彰講演会について ⑥ 第37回笠岡市青少年健全育成推進大会について ⑦ 第62回笠岡市文化祭について ⑧ 第37回笠岡市芸能祭について ⑨ 第39回笠岡市菊花展について ⑩ 頑張る学校応援事業優良実践校の決定について ⑪ 「かさおか海の学習」の概要（案）について ⑫ 教育委員の視察先について
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市学校給食センター整備手法等検討調査見直し業務報告書（速報版）について ② 第10回笠岡市木山捷平文学選奨作品募集結果について ③ 平成26年度いきいきオープンスクール参加者数等結果概要について
12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成26年度笠岡市成人式の開催について ② 学校規模適正化に係る保護者説明会について ③ 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について ④ 運動公園周辺の市道整備について
1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市学校給食センター整備手法等検討調査見直し業務報告書について

1月29日	① 平成26年度卒業式及び平成27年度始業式等の日程について ② 平成27年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒数の見込みについて ③ 平成26年度笠岡市学校給食展について ④ 第28回笠岡市人権・部落解放文化祭について ⑤ 笠岡市立神島外小学校教育課程特例校の認定について ⑥ 平成26年度笠岡市成人式開催結果について
2月17日	① 笠岡市立小・中学校卒業式の祝辞について ② 学校等教育施設訪問（後期）の結果について
3月19日	① 平成27年3月笠岡市議会定例会質問・回答について
3月30日	① 平成27年度第1回総合教育会議について

(2) 教育委員会の活動

<予算について市長意見聴取>

新年度の教育費の予算関係を中心に市長と教育委員との懇談会を実施した。

月 日	場 所	内 容
1月16日	市 長 室	平成27年度笠岡市一般会計教育関係予算について

<市議会への出席>

5月臨時会	2日間
6月定例会	6日間
9月定例会	7日間
12月定例会	6日間
3月定例会	7日間
総務文教委員会	毎月1回

(3) 教育委員の研修等

岡山県市町村教育委員会連絡協議会，岡山県都市教育委員会教育長協議会等の総会，研修会への参加をはじめ，県外への視察等も行い，直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月21日	平成26年度教育問題懇談会	岡山県総合教育センター
4月25日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	あしもり学園
5月11日	平成26年度市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会	岡山県総合教育センター
7月 3日	平成26年度岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会	ライフパーク倉敷

7月17日	第1回岡山教育事務所管内市町村教育委員会教育長連絡会議	ピュアリティまきび
8月1日	岡山県都市教育委員会教育長協議会（臨時会）	サンビーチOKAYAMA
9月17日 ～18日	給食センター先進地視察	東京都立川市 千葉県銚子市
10月2日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回定例会	玉野産業振興ビル
10月6日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	岡山県庁
10月24日	第2回岡山教育事務所管内市町村教育委員会教育長連絡会議	ピュアリティまきび
11月12日	岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会	くらしき健康福祉プラザ
11月19日	教育委員会行政視察	広島市立藤の木小学校
1月15日	岡山県都市教育委員会教育長協議会 平成26年度行政視察	福岡県春日市
1月22日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第3回定例会	倉敷市民会館

○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月1日	辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか
4月4日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会共励会	教育委員会会議室
〃	春の交通安全市民運動推進大会	笠岡市保健センター
4月18日	校園長会	教育委員会会議室
4月26日	笠岡市婦人協議会総会	笠岡市中央公民館
4月27日	カプトガニ保護啓発活動第1回	大殿洲海岸ほか
4月29日	笠岡市子どもフェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
4月30日	笠岡市公民館協議会総会	笠岡市中央公民館
5月7日	小学校教科書採択地区協議会第1回	井原市役所
5月20日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	教育委員会会議室
〃	笠岡市体育協会総会	笠岡市中央公民館
5月26日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会理事会	教育委員会会議室

5月27日	笠岡市青少年問題協議会	笠岡市中央公民館
〃	租税教育推進協議会総会	笠岡市民会館
6月1日	笠岡市さつき・新緑展表彰式	笠岡市民会館
6月5日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	教育委員会会議室
6月7日	戦没者追悼式	笠岡市民会館
6月8日	笠岡市子ども会育成連絡協議会総会	笠岡市中央公民館
6月18日	(公財)坂本音一育英会評議員会	教育委員会会議室
6月19日	第1回笠岡市福祉介護合同協議会及び笠岡市福祉施策審議会	市民活動支援センター
6月30日	笠岡市青少年問題協議会	教育委員会会議室
〃	笠岡警察署協議会平成26年第2回	笠岡警察署
7月8日	交通安全対策協議会正・副部会長会議	市民活動支援センター
7月9日	教育施設訪問	市内教育施設
7月11日	小学校教科書採択地区協議会第2回	矢掛文化センター
7月15日	社会を明るくする運動推進大会	笠岡市保健センター
〃	笠岡市要保護児童対策地域協議会代表者会	教育委員会会議室
7月23日	笠岡市内学童水泳記録会	中央小学校
7月24日	交通安全対策協議会総会	サンライフ笠岡
7月25日	定住促進本部会議第1回	笠岡市役所
7月28日	小学校教科書採択地区協議会第3回	笠岡市中央公民館
7月31日	固城郡歓迎式	笠岡市民会館
8月8日	人権教育推進委員会	教育委員会会議室
8月19日	交通安全対策協議会正・副部会長会議	市民活動支援センター
8月20日	定住促進本部会議第2回	笠岡市役所
8月31日	笠岡市防災訓練	笠岡湾干拓
9月18日	第2回笠岡市福祉介護合同協議会及び笠岡市福祉施策審議会	サンライフ笠岡
9月21日	秋の交通安全市民運動推進大会	笠岡自動車学校
9月26日	笠岡警察署協議会平成26年第3回	笠岡警察署
10月1日	教育施設訪問	市内教育施設
10月9日	岡山県美術展覧会	笠岡市民会館
10月14日	定住促進本部会議第3回	笠岡市役所
10月19日	岡山県美術展覧会表彰式	山陽新聞社
10月21日	笠岡市内学童陸上運動記録会	笠岡陸上競技場
10月25日	笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市中央公民館

10月26日	第9回べいふぁーむ駅伝大会	笠岡陸上競技場ほか
10月31日	笠岡小学校研究発表会	笠岡小学校
11月1日 ～7日	笠岡市内小・中学校オープンスクール	笠岡市内小・中学校
11月1日	ワコー文化賞贈呈式	笠岡グランドホテル
11月2日	笠岡市文化祭	笠岡市民会館ほか
11月3日	笠岡市文化の日記念表彰式	笠岡市保健センター
11月7日	岡山県立笠岡工業高等学校創立70周年記念式典	岡山県立笠岡工業高等学校
11月12日	笠岡東中学校研究発表会	笠岡東中学校
11月13日	第3回笠岡市福祉介護合同協議会及び笠岡市福祉施策審議会	サンライフ笠岡
11月14日	善行少年表彰式	笠岡警察署
11月15日	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館視聴覚室
11月29日	青少年健全育成推進大会	笠岡市中央公民館
12月7日	市長杯備西地区ママさんバレーボール大会	笠岡市総合体育館
〃	笠岡市人権週間の集い	笠岡市保健センター
12月18日	第4回笠岡市福祉介護合同協議会	サンライフ笠岡
12月21日	第28回カブトガニ駅伝大会	笠岡陸上競技場ほか
1月11日	成人式	笠岡市民会館
1月16日	市長と教育委員との懇談会	市長室
1月19日	人権教育推進委員会	笠岡市中央公民館
1月22日	第4回笠岡市福祉施策審議会	サンライフ笠岡
1月27日	笠岡警察署協議会平成27年第1回	笠岡警察署
2月1日	第18回べいふぁーむ笠岡マラソン大会	笠岡陸上競技場ほか
2月5日	教育施設訪問	市内教育施設
2月8日	第26回笠岡市生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2月19日	第5回笠岡市福祉施策審議会	市民活動支援センター
2月20日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	教育委員会会議室
2月21日	第28回笠岡市人権・部落解放文化祭	吉田文化会館・吉田小学校
2月22日	笠岡市美術展表彰式	笠岡市民会館
2月28日	笠岡市連合PTA市長と語る会	笠岡小学校会議室
3月1日	高校卒業式	笠岡市内各校
3月3日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会理事会	教育委員会会議室
3月6日	岡山県立西備支援学校高等部卒業式	岡山県立西備支援学校

3月 8日	第10回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡市保健センター
3月13日	岡山県立西備支援学校小・中学部卒業式	岡山県立西備支援学校
3月16日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	教育委員会会議室
3月17日	中学校卒業式	市内中学校
3月19日	小学校卒業式	市内小学校
3月24日	(公財)坂本音一育英会評議員会	教育委員会会議室
3月26日	第6回笠岡市福祉施策審議会	市民活動支援センター
3月27日	笠岡市民会館運営委員会	笠岡市民会館
3月31日	退職辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか

(4) 学校及び教育施設への支援

○教育委員による学校・教育施設訪問

幼稚園3園，小学校5校，中学校3校，公民館等教育施設7施設を訪問した。

(前年度 幼稚園3園，小学校6校，中学校3校，教育施設10施設)

月 日	学 校 等	教育施設等
7月 9日	真鍋中学校，北木小学校， 笠岡西中学校，笠岡小学校	白石公民館
10月 1日	中央小学校，横江幼稚園， 笠岡東中学校，吉田小学校	新山公民館
2月 5日	陶山幼稚園，大島東幼稚園， 大島小学校	竹喬美術館，教育相談室富岡分 室，神島公民館，体育センター， 市民会館

各学校（園）における教育目標，研究主題，指導の重点を確認し，授業・部活動状況，施設整備状況，地域との連携，幼・小・中学校の連携等の実情を視察，現在抱える課題について意見交換した。教育施設についても，活動状況や運営状況及び施設整備状況を視察し，今後の課題について懇談した。また，学校開放の時期等を活用して随時，授業参観を行ったり，研究指定校の公開授業を参観して課題の把握に努めている。

○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せ，食育の推進・地産地消の推進を行っている学校給食センター（共同調理場）及び島しょ部校（単独調理場）の学校給食を試食した。

月 日	学 校 等	調理施設
7月9日	笠岡市立北木小学校	北木小学校
10月1日	笠岡市立吉田小学校	学校給食センター
2月5日	笠岡市立大島小学校	学校給食センター

2 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育行政の運営に関する基本方針

平成26年度「笠岡市教育行政基本方針」を策定するとともに、人間尊重を基調に「心豊かで活力ある人づくりまちづくり」を達成するため、「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策、「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」3施策、「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」2施策、「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」3施策の各教育行政重点施策を定めた。

(2) 規則等の改廃

規則，要綱，規程等の制定・改正等を行った。

- ①笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について
- ②笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について
- ③笠岡市わくわくシーサイドスクール実施要綱の一部を改正する要綱について
- ④笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ⑤笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について
- ⑥笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ⑦笠岡市立神島外小学校転入学特別制度実施要綱の制定について
- ⑧笠岡市立学校管理規則の一部を改正する規則について
- ⑨笠岡市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について
- ⑩笠岡市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
- ⑪笠岡市教育委員会会議傍聴規則の一部を改正する規則について
- ⑫笠岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
- ⑬笠岡市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則について
- ⑭笠岡市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について
- ⑮笠岡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
- ⑯笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について
- ⑰笠岡市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について
- ⑱笠岡市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について
- ㉑笠岡市学校給食センター建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について

(3) 教育関係予算

教育行政に関する平成27年度当初及び平成26年度補正予算を審議した。

(4) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止

飛島幼稚園（平成26年10月1日廃止）

北木幼稚園（平成26年10月1日廃止）

豊浦幼稚園（平成26年10月1日廃止）

飛島小学校（平成26年10月1日廃止）

(5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申，幼稚園長の人事異動，地区公民館長の任命について審議した。

(6) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

笠岡市人権教育推進委員会委員，笠岡市文化財保護委員，笠岡市立竹喬美術館協議会委員，笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員，笠岡市教育集会所運営委員会委員，笠岡市社会教育委員，公民館運営審議会委員，笠岡市図書館協議会委員，笠岡市学校給食センター運営委員会委員を委嘱した。

(7) 市重要文化財の指定

指定はなかった。

(8) 教育委員会の点検評価報告書の作成

平成25年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会への報告，公表を行った。

自己評価 B

学校規模適正化計画に沿って地元説明会を開始した。必要に応じて教育委員会で十分協議を重ねながら対処してきた。

笠岡市は，各地域の規模や各学校の規模などに，かなり違いがあるため，それぞれの教育課題を的確に把握して政策や予算に反映できるよう教育行政の充実に努めた。

そして，神島外小学校を神島外中学校と同様に転入学特別制度実施校として位置付け，小・中が連携して特色ある教育が行えるよう体制を整備した。

また，法改正に伴う新教育委員会制度への移行を円滑に行うため，関係条例等の整備，改正を行った。

3 教育行政重点施策

《 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進 》

点検・評価項目	自立した子どもの育成
担 当 課	学校教育課

目 標 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得し、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

事 務 事 業

1 基礎・基本の確実な定着と主体的な学習態度の育成

事業概要 小・中学校を訪問し、確かな学力の獲得に向けた改善プランの取組状況等について、確認及び指導・助言を行う。併せて、各種研究指定に基づく取組の支援・助言を行う。

取組状況 (1) 平成 26 年度岡山県学力・学習状況調査結果を踏まえた取組の明確化及び中学校ブロックごとの協議

【平成 26 年度岡山県学力状況調査結果（小北中除く）】

平均正答率 (%)	全体		基礎		活用	
	笠岡	県	笠岡	県	笠岡	県
国語	<u>67.8</u>	67.4	<u>74.1</u>	74.0	<u>44.9</u>	43.6
社会	<u>55.5</u>	53.9	<u>56.2</u>	54.0	<u>53.8</u>	53.7
数学（算数）	<u>59.4</u>	57.7	<u>61.7</u>	59.6	51.0	51.0
理科	51.9	52.4	59.1	59.3	30.3	31.8

【平成 26 年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答（小北中除く）】

学習状況に係る質問項目	笠岡	県
放課後等、先生や地域の人と勉強する 「週に数回程度」～「ほぼ毎日」	<u>22.9</u>	20.9
自分で計画を立てて勉強している	<u>66.0</u>	63.7

(2) 課題に応じた学校訪問及び研究発表会の開催

各校園の課題を把握し、それに基づき意図的かつ重点的に学校訪問し、課題に対する具体的な指導・助言を行った。

併せて、笠岡小学校（理科・生活科）、笠岡東中学校（学び合い）の研究発表会を通して基礎学力の定着に係る取組を公開した。

(3) 理科観察実験アシスタント 2 名配置

・笠岡小，中央小，金浦小，大井小

(4) 補充学習の充実

- ・かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業（全小学校：316名参加）
- ・放課後学習サポート支援事業（16小学校：407名参加）
- ・かさおかサマーチャレンジ学習支援事業（全中学3年生：62名参加）

(5) 授業改善・学力向上のためのデジタル教材等の整備

- ・指導者用タブレット一体型ノートパソコン（全普通教室，一部特別教室）

(6) 落ち着いた学習環境づくりに向けた学習規律の徹底

大井小学校を学習規律のモデル校として周知し，各校の学習規律の徹底を図った。

成 果 笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを軸に，授業改善や補充学習の充実など多面的な取組を継続した結果，教員の意識が変わりつつあり，学校における授業改善が進んできている。小学校の基礎においては，成果が少しずつ現れている。

また，校内研修や中学校ブロックでの協議会を通じて，学習規律や授業改善について具体化が図られた。

2 幼児教育の充実

事業概要 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の充実を図る。

取組状況 (1) 幼児と児童との交流の機会の設定

- ・保育所（園），幼稚園と小学校との連携：全小学校

(2) 3年保育全園実施

(3) 家庭や地域との連携（未就園児の園庭解放，家庭，地域の方の保育への参画の推進）

(4) 子ども子育て会議への参加，ニーズの把握

成 果 子ども子育て会議等で保護者や有識者の方の幼児教育に関わる要望等を聞くことができた。また，小学校との交流や連携については，昨年と同様に幼小の接続の視点を意識して実施できた。

3 特別支援教育の充実

事業概要 学校・園が関係機関と連携を取りながら，個別支援を必要とする児童生徒の教育の充実を図る。学校・園のニーズに応じて非常勤支援員を配置するとともに，4歳児発達支援事業を継続実施する。

取組状況 (1) 幼・小・中学校（園）への非常勤支援員の配置

- ・幼稚園4園 ・小学校11校 ・中学校4校：計34名配置

- (2) 特別支援教育担当者研修会の実施
 - ・幼稚園，保育所：年9回
 - ・幼稚園，小学校，中学校：年1回
- (3) 自閉・情緒通級指導教室「つばめ教室」(中央小学校)の開設
- (4) 就学指導に関わる保・幼・小連絡会の実施：年2回
- (5) 「4歳児発達支援事業」の推進(早期相談・早期支援)
- (6) 笠岡市相談支援ファイル「かけはし」の活用状況の把握及び周知見直し改訂，青年期・成人期を追加

成 果 自閉・情緒通級教室を新たに開設したことにより，通常学級に在籍する困り感をもった子や保護者を支援することが可能となった。相談支援ファイル「かけはし」の青年期・成人期について検討・追加し，より長期にわたる活用が可能となった。

4 時代に即した学校教育の推進(情報教育・連携教育)

事業概要 教職員のICT活用指導力の向上を図るとともに，情報教育の一層の推進と充実を図る。また，子どもの発達を軸に，幼児期から中学校まで一貫性のある教育を推進する。

- 取組状況
- (1) 校長会(年6回)・教頭会(年3回)におけるICT機器の効果的な活用に向けた助言及び情報提供
 - (2) 学校訪問や校内研修を活用したICT活用に関わる指導・助言
 - (3) 小・中学校コンピュータ室等の整備
 - 児童・生徒用ノートパソコン(コンピュータ室1人1台)
 - 指導者用タブレット一体型ノートパソコン(全普通教室，一部特別教室)
 - (4) ICT活用による授業改善のための研修会(大井小)
 - (5) 中学校ブロック内の課題の明確化及び解決に向けた取組の共有

成 果 コンピュータ室や普通教室のICT機器の整備や，それに伴った新たな機器に対する教職員研修等を通して，教員のICT活用がより日常的になり，授業改善が進んだ。

課題・方向性

喫緊の課題である学力向上については，教員の意識改革や授業改善，放課後や土曜日を活用した補充学習はさらに継続的に行うことで成果を積み重ねていくことが必要である。家庭学習の時間や学習習慣の確立に向けて，各学校が取組始めているが，引き続き課題である。

自己評価 B

笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として、教員のICT活用による授業改善や補充学習の充実を図ってきた結果、学力・学習状況調査結果については、小学校では基礎において若干上向いてきた。また、ICT機器の入れ替えや新たな機器の導入による環境づくりを進めたこともICT活用による授業改善を推進することにつながった。学力の育成については継続して取り組むことにより、さらに改善を図りたい。

併せて、中学校ブロック内の連携教育を推進することで、校種が異なる教員同士が話し合う機会が増え、具体的な取組ができるようになってきている。今後は、各取組について情報を集め、まとめを行い、現状と今後の課題を明確にして、より一層の改善を図っていきたい。

点検・評価項目

豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成

担 当 課

学校教育課

目 標

子どもたちにとって安全で安心して生活できる教育環境の中で、道徳教育や体験活動を推進し、幼児期からの基本的な生活習慣の確立及び規範意識の高揚など、豊かな人間性や社会性を育み、心身ともに健康な子どもの育成を図る。

事 務 事 業

1 豊かな人間性を育む教育の充実

事業概要 道徳教育の一層の充実を図るとともに、人・社会・自然などの体験活動を通して子どもたちのよりよい人格形成を図る。

取組状況 (1) 道徳の時間の確保及び道徳教育の充実

【道徳の時間の1学級当たりの平均授業時数】

・小：35.5時間（H25：36.2時間）

・中：35.7時間（H25：35.5時間）

(2) 総合的な学習の時間を中心とした体験活動の充実

・「豊かな心を育む総合推進事業」（小北中除く。）

(3) 中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」の実施

・市内全中学2年生対象：4日間 参加生徒数 456名

(4) 3年保育の実施（全幼稚園）

(5) いじめ問題対策基本方針に基づく取組

【暴力行為発生状況（公立：国立：私立計）（小北中含む）】

※ 発生学校数÷学校総数×100（%）

年度 \ 種別	小学校		中学校	
	笠岡	県	笠岡	県
H24	5.3	14.9	50.0	59.8
H25	0.0	15.5	30.0	57.5
H26	0.0		20.0	

【平成26年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答%（小北中除く）】

内面に係る質問項目	笠岡	県
物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある	97.0	96.0
自分には、よいところがあると思う	76.5	79.5
将来の夢や目標をもっている	88.3	84.4

学校のきまりを守っている	97.0	95.6
人が困っているときは、進んで助けている	84.7	84.8
人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	95.9	94.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	99.2	97.0
人の役に立つ人間になりたいと思う	96.5	95.3

成 果 岡山県学力・学習状況調査の質問紙においても、県平均より高い結果となっている項目が増え、新たに「物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある」の項目が県平均より高くなった。

2 安全教育・防災教育の推進

事業概要 各校園において、安全点検を徹底するとともに、危機管理部と連携を図りながら火災や地震、津波等の緊急事態発生時には、全教職員及びすべての子どもたちが適切に対応できるよう避難訓練を充実させるなど、安全で安心して生活できる実効性のある危機管理体制づくりを推進する。

また、子どもたちが、災害に対する正しい知識・技能をもとに、的確に状況を判断し、自らの命は自ら守り（自助）、周りの人々のために役立つ（共助）ことができるよう、防災対応能力を育成する。

- 取組状況
- (1) 教職員及び保護者による通学路の安全点検の実施：全小・中学校
 - (2) 保護者や地域住民との積極的な連携
 - ・地域と連携した避難訓練の実施
 - ・安全パトロール隊、見守り隊、子ども110番 等
 - ・救急救命法講習会の開催
 - (3) 着衣水泳の実施
 - (4) 警察と連携した避難訓練の実施
 - (5) 不審者情報緊急配信メールの活用
 - (6) 「地震・津波等対応マニュアル」及び防災教育実施計画の見直し

成 果 不審者情報緊急配信メールのシステムを改善したことにより、各学校において迅速で、幅広い活用が可能となり、活用が充実した。

3 健康教育の充実と食育の推進

事業概要 子どもの心身の健康を保持・増進していくために、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、健康を大切にす意欲や態度を育てる。

- 取組状況 (1) 年間指導計画に基づく健康教育の実施

【残食率】

・平成26年度：14.8% ・平成25年度：14.2%

- (2) 「食に関する指導」年間指導計画の作成・見直し
- (3) 栄養教諭や栄養士，調理員等による給食時の学校訪問実施
 - ・小学校 14 校，中学校 7 校
- (4) 栄養教諭による食育の授業実施
 - ・小学校 6 校（27 時間），中学校 6 校（10 時間）
- (5) 学校保健委員会・学校園における食に関する講話や試食会の実施
 - ・講話：幼稚園 3 園
 - ・試食会：幼稚園 9 園，小学校 13 校，中学校 1 校（1,174 人参加）
- (6) 笠岡市学校給食展開催（2 月）
- (7) 学校給食における地産地消の推進

地産地消の取組では，市内業者とも連携し，献立を工夫した。

【県内産使用割合】

・平成 26 年度：46.4%，平成 25 年度：40.2%

※ 県の目標値：平成 26 年度までに 47%

- (8) アレルギーのある児童生徒への対応
 - ・鶏卵除去食：18 人
 - ・豆乳希望者：5 人

成 果 小中合わせて 12 の学校と協力して食育の授業を実施し，食の大切さを伝えた。学校給食における地産地消の割合を高めるよう努め，地産地消については昨年度より使用率が上回った。また，幼稚園での親子の指導を行い，食の生活習慣の大切さについて，子どもや保護者に対する周知を図った。

4 学校体育・スポーツ活動の充実

事業概要 学校と家庭・地域が連携して，児童生徒の体力の向上を図る。

- 取組状況**
- (1) 校内における体力向上の取組
 - ・水泳や陸上の特別練習の実施：小学校 18 校
 - ・業間運動の実施：全小学校
 - ・部活動の充実：全中学校
 - ・駅伝大会に向けた特別練習の実施：中学校 6 校（小北中含む）
 - (2) 新体力テストの実施（全小・中学生対象）
 - ・「A」段階（優秀章）人数

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	男子	女子	男子	女子
小学校	193 名	218 名	178 名	172 名
中学校	73 名	189 名	55 名	173 名

(3) 岡山県「子どもの運動の習慣化事業(チャレンジランキング)」への参加

・平成26年度：小4校，中2校 平成25年度：小6校

成 果 岡山県が実施しているチャレンジランキングには，新たに中学校が2校参加した。体育の授業や部活動を中心に体力向上に努め，新体力テストにおいて「A」段階が，小中学校ともに大きく増加した。

課題・方向性

豊かな心や健やかな体をもつ子どもの育成に向けて，各調査結果については，同じ結果，または良い結果が増えてきているが，自己肯定感が少し低いのが気になる。全教育活動を通して良い点を認め，励ましていく取組が必要と考えている。今後も学校においては，体験活動を関連させながら取り組んでいくが，基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成については，家庭と連携した取組を充実させることが課題である。

自己評価 B

豊かな心や健やかな体をもつ子どもを育成するためには，各学校園の取組を充実していくことと同時に，家庭との連携・協力が必要であり，引き続き継続した取組を行っていきたい。健康教育，食育の推進については，栄養教諭の授業や学校給食センター職員の学校訪問，学校保健会や給食展等，多くの機会を設けて子どもや保護者へ，その大切さを指導・周知する機会を設けることができている。

点検・評価項目	安心して学習できる教育環境づくり
担当課	学校教育課

目 標 地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域との信頼関係を構築するとともに、子どもたちが安心して学習できるように教職員の資質・能力の向上や相談体制の充実に努める。

事 務 事 業

1 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備

事業概要 学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営や教育課程の編成に生かすとともに、開かれた学校づくりを推進する。また、いきいき交流スクール、わくわくシーサイドスクール、神島外中学校転入学特別制度を積極的に推進する。

取組状況 (1) オープンスクールの実施：全校で4日間

【参加者数（小北中含む）】

	平成 26 年度	平成 25 年度
保護者	2,306 人	2,674 人
保護者以外	950 人	1,191 人
計	3,256 人	3,865 人

- (2) 学校運営協議会・学校評議員会の活用
- ・学校運営協議会（笠岡東中・笠岡西中：年5回開催）
 - ・学校評議員会（その他全校園：年2～3回開催）
- (3) 学校自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果を生かした次年度教育課程の編成
- (4) CMSによる積極的な情報発信（全小中学校）
- (5) 学校支援地域本部事業の活用 4中学校・11小学校
- ・金浦中学校区，大島中学校区，北木中学校区，新吉中学校区
 - ・中央小学校，神内小学校，神島外小学校
- (6) 笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画書に基づき，対象となる学校の地区・保護者への説明会の開催・・・各地区3回
- (7) 転入学特別制度の活用
- ・「わくわくシーサイドスクール」活用児童：1名
 - ・「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒：1名

(8) 学校規模適正化説明会

月 日	会 場	月 日	会 場
5. 23	説明会(白石中学校区)	12. 04	第2回説明会(今井小)
5. 24	説明会(陶山小学校区)	12. 07	第2回説明会(大島東小)
5. 25	説明会(大島東小学校区)	12. 12	第2回説明会(真鍋中)
6. 03	説明会(真鍋中学校区)	12. 20	陶山小PTA代表との協議
6. 10	説明会(北木中学校区)	27. 2. 1	今井小PTAとの協議
6. 13	説明会(今井小学校区)	2. 7	陶山小PTA代表との協議
6. 19	説明会(大島小学校区)	2. 15	大島東小保護者との懇談
6. 21	説明会(神外小中学校区)	2. 26	説明会(金浦小学校区)
6. 25	説明会(PTA連合会)	3. 1	陶山小PTA代表との協議
7. 30	説明会(笠岡小学校区)	3. 17	第3回説明会(北木中)
11. 26	第2回説明会(白石中)	3. 20	第3回説明会(真鍋中)
11. 29	第2回説明会(陶山小)	3. 23	第3回説明会(大島東小)
12. 02	第2回説明会(北木中)	3. 29	第3回説明会(陶山小)

成 果 ホームページや学校便りを活用し、学校の教育方針や児童生徒の実態等を積極的に発信するとともに、学校運営協議会や学校評議員会、学校支援地域本部事業等を活用し、保護者や地域の方々に情報を発信し、連携した取組も進んでいる。

学校規模の適正化に関しては、統合対象の3小学校3中学校に対し、それぞれ3回の地域や保護者への説明会を開き、その他懇談等も交え、理解を得るよう説明し、地域や保護者の意見を集約することができた。

2 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立

事業概要 市内の幼・小・中全教職員で組織する教育研修所、教科等研究委員会及び各種教職員研修における研究を推進する。

取組状況 (1) 笠岡市教育研修所による研修の充実

部会ごとに具体的なテーマを設定し、実践的な研究を計画的に取り組んだ。

【研究指定校園発表】

・笠岡小学校・笠岡東中学校・白石小学校・白石中学校

【研修部会の参加人数・参加率・回数等】

定例部会 (総出席者数 921 名・78.9%)			特別部会 (総出席者数 799 名・74.6%)		
校種	部会	研修会	校種	部会	研修会
幼	2	6回	幼小	1	4回
小	9	23回	小	7	19回
中	10	22回	中	7	14回
小中	3	13回	幼小中	1	4回

(2) 若手教員パワーアップ研修会 (35歳以下教員対象)

・8月：授業力向上編

(3) 若手教員パワーアップミニ研修会 (随時)

(4) 不登校対応スキルアップ校内研修会 (3回)

(5) 岡山県教育委員会・岡山県総合教育センターと連携した研修会

・小学校ICT活用研修講座：大井小

(6) 小学校3校で校務支援システム整備

(7) 服務規律の徹底

校園長会 (年6回)・教頭会 (年3回) で教職員の服務規律の徹底について指導したり、県の管理職研修等の場で研修したりした。また、すべての学校(園)で、不祥事防止の研修を計画的に年数回開催した。

成 果 笠岡市教育研修所では、定例(教科等)部会を中心にして各部会とも現在学校(園)が抱えている課題をテーマに取り上げ、授業研究等の実践的研究を計画的に実施した。また、若手教員を対象とした授業力向上に関する研修は著名な講師を招聘した実践的な研修を行った。

3 教育相談・支援体制の充実

事業概要 不登校やいじめなどの学校不適應の問題、発達障がい等による特別な支援が必要な子どもへの対応、児童虐待などの今日的な課題に対応することができるよう、教育相談室と教育支援センターの相談・支援体制の充実に努めるとともに、関係機関との連携を図る。

取組状況 (1) 「笠岡市いじめ・不登校対策総合推進事業」に基づいた取組の推進
 (2) スクールカウンセラーの配置
 ・全中学校 ・小学校4校(笠岡小, 中央小, 大井小, 城見小)
 (3) スクールソーシャルワーカーの活用
 (4) 不登校対策支援員の配置(4校)
 ・笠岡東中, 笠岡西中, 金浦中, 神島外中
 (5) 不登校対策研修会(2月)

(6) 学校と学校教育課，教育相談室，関係機関との連携強化

【教育相談室・教育支援センターへの通室数及び相談・支援件数(小北中含む)】

	平成 26 年度	平成 25 年度
通室児童生徒数	6名(小1・中5)	7名(小1・中6)
教育相談室	延べ 477 件	延べ 510 件
教育支援センター	延べ 130 件	延べ 345 件

【不登校発生状況(公立：国立：私立計)(小北中含む)】

※ 出現率＝不登校児童(生徒)数÷在籍児童(生徒)数×100

小	不登校児童数		出現率			笠岡市在籍児童数
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国	
H24	485	7	0.45	0.28	0.31	2,457
H25	454	10	0.43	0.43	0.36	2,321
H26		5		0.22		2,287

中	不登校生徒数		出現率			笠岡市在籍生徒数(小北中含む)
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国	
H24	1,491	43	2.60	3.01	2.56	1,429
H25	1,403	37	2.48	2.68	2.69	1,380
H26		25		1.90		1,315

【いじめ発生状況(公立：国立：私立計)(小北中含む)】

※ 一校当たりの件数＝認知件数÷総学校数

小	認知した学校数		認知件数		一校当たりの件数		
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国
H24	179	4	509	5	1.2	0.3	5.5
H25	157	3	371	4	0.9	0.2	5.6
H26		3		4		0.2	

中	認知した学校数		認知件数		一校当たりの件数		
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国
H24	125	4	663	12	3.8	1.2	5.9
H25	110	1	445	3	3.8	0.3	5.2
H26		3		6		0.6	

成 果 学校園や保護者，地域，関係機関との連携による教育相談・支援体制は整い機能している。不登校については，スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー，不登校支援員等の人的配置により組織体制の強化を図ることができた。

4 新学校給食センターの建設

事業概要 子どもたちに安全で安心な給食の提供と食育の推進を基本理念に，新学校給食センターの早期建設に向けて取り組む。

取組状況 (1) 整備手法の決定
(2) 建設予定地の決定

成 果 新学校給食センターの早期建設に向けて，整備手法及び建設予定地等を決定し，事業推進に努めた。

課題・方向性

安心して学習できる教育環境づくりの実現に向けて，全体的に取組を進めることはできたと考える。不登校に関しては，昨年度より減少したものの，学校と教育委員会，関係機関等の連携を引き続き充実させていかなければならない。

自己評価 B

不登校については，相談体制の充実や各機関の連携により，取組の成果が現れてきている。子どもたちが安心して学習できるように教職員の資質・能力の向上や相談体制の充実については継続して取り組んでいく。

点検・評価項目

人権教育の推進

担当課

学校教育課

目標

「生きる力」を育む中で人権尊重の精神を養うとともに、望ましい人間関係づくりに努める。また、様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため、「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」の3視点から教育活動全体を通じて、計画的・継続的に人権教育を推進する。

事業

1 教育・啓発活動の推進

事業概要 人権教育推進体制の確立のための取組を実施する。

取組状況 (1) 各校における人権教育全体計画・年間指導計画の作成及び担当者研修の実施

- ・人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成
- ・人権課題解決のための自立支援
- ・人権を尊重する環境づくり

(自他を尊重する集団形成，人権に配慮した教育指導)

(2) 人権週間（12月）における取組

各校において、各教科・総合的な学習の時間・特別活動等における様々な人権課題を題材とした学習を通して、共生社会の実現に向けた意識の高揚を図った。

(3) 人権啓発ポスターコンクール実施（小北中含む）

	平成 26 年度	平成 25 年度
応募作品数	185 点	112 点
入賞作品数	38 点	47 点

(4) P T A 人権教育研修会

参加率：平成 26 年度 32.5%，平成 25 年度 37.2%

成果 学校園の実態や教職員のニーズを踏まえて、各研修会のテーマの設定、資料提供や講師の紹介を行った。

2 教職員の研修の充実

事業概要 人権教育担当者の研修，指導者養成講座・研修講座等を開催するとともに，人権教育研究協議会育成事業を実施する。

取組状況 各種研修講座の実施

- ・小・中学校人権教育担当者研修会実施：年 2 回
- ・人権教育指導者講座の実施：年 6 回

- ・人権保育研修講座の実施：年2回
- ・自立促進連絡会の実施：年15回
- ・笠岡市人権教育研究協議会事業実施の支援：年4回
- ・各中学校ブロック人権教育研修会等の実施：8回

成 果 一般的な人権課題に加え、学校（園）が抱えるいじめや体罰等のほか、新たにスマートフォンやネットでの人権に関わる課題も計画的に取り上げ、実態を踏まえた具体的な研修を実施した。

課題・方向性

スマートフォンの使用などネット社会での人権についても取り組んできたが、小学校での家庭の関心が低いところもあり、今後緊急に対応する必要もある。

自己評価 B

幅広い人権課題に対応した研修や計画していた事業は、予定どおり実施することができた。しかし、PTA人権教育研修会の参加率の向上については、引き続き課題である。今後は、各校園で取り組んでいる人権教育の成果と課題を把握し、その充実に向けて具体的な指導・助言を行うとともに、子どもたちの自尊感情を高めていくよう、校園長会や研修会を活用して人権教育の推進について積極的に情報発信していきたい。

点検・評価項目

学校施設等の整備

担 当 課

教育総務課

目 標

耐震診断，耐震化による安全対策の充実と校舎等施設の営繕等を適切に実施し，教育環境の向上に努める。

事 務 事 業

1 学校施設の耐震化事業の推進

事業概要 学校施設は，児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に，多くの学校が災害時における各地域の避難場所としての役割を担っている。こうしたことから，教育環境の安全確保及び危惧されている東南海・南海地震に対処するための児童・生徒及び地域住民の安全拠点として整備をする。

取組状況 昭和 56 年 5 月以前に旧耐震設計基準で建てられた学校施設について，耐震診断（2 次）の結果をもとに，耐震化が必要な建物について，計画に基づき実施設計を実施した。

また，小学校 7 校 7 棟，中学校 2 校 2 棟について，耐震補強工事を実施し，その中の 4 棟については施工監理を委託した。

<平成 26 年度に耐震補強工事が完了した建物>

中央小学校管理・特別教室棟，今井小学校管理・特別教室棟，金浦小学校屋内運動場，城見小学校屋内運動場，大井小学校教室・特別教室棟，笠岡小学校屋内運動場，北川小学校屋内運動場，大島中学校屋内運動場，北木中学校屋内運動場

※施工監理を中央小学校管理・特別教室棟工事，今井小学校管理・特別教室棟工事，北木中学校屋内運動場で委託した。

<小中学校の耐震化率（平成 26 年度末）>

笠岡市 89.6%，県 89.1%，国 95.6%

成 果 平成 27 年度の耐震化工事完了に向け，計画的に耐震化工事を進めることができた。

2 校舎等施設の整備と安全確保の推進

事業概要 学校施設の営繕・整備について，適切に実施し，児童・生徒の安全確保を進める。

取組状況 (1) 学校施設の営繕・整備

学校現場からの要望を集約し、危険度・緊急度を精査し、学校施設の営繕・整備を行った。

<主な工事>

学校名	事業名	事業費(千円)
吉田小学校	教室床改修工事	832
中央小学校	監視カメラ取付工事	929
大島東小学校	特別教室窓修繕工事	1,134
北川小学校	体育館スロープ設置工事	692
今井小学校	パソコン室エアコン設置工事	1,145
大島東小学校	パソコン室エアコン設置工事	625
今井小学校	トイレ洋式化工事	951
神内小学校	トイレ洋式化工事	1,242
新吉中学校	防球フェンス増設工事	2,693
笠岡西中学校	柔道場改修工事	659
金浦中学校	スロープ設置工事	2,312
金浦中学校	トイレ改修工事	658
新吉中学校	トイレ洋式化工事	735
笠岡西中学校	トイレ洋式化工事	1,210
金浦幼稚園	建具改修工事	1,242
大島幼稚園	保育室床改修工事	1,275
尾坂幼稚園	倉庫屋根工事	199

(2) 大島小学校教室増設工事

児童数の増加による普通教室の不足に対応するため、普通教室の増設を行った。

(3) 学校施設空調設備設置事業

快適な教育環境を提供するため、学校施設へ年次的に空調設備を整備するため、実施設計を中学校3校、幼稚園2園で実施した。

<平成26年度に空調設備設置工事实施設計を実施した学校・園>

笠岡東中学校、金浦中学校、神島外中学校、富岡幼稚園、横江幼稚園

成 果 学校施設等については、昨年と同様に優先度等を勘案し、適切な営繕及び整備を進め、より安全で快適な教育環境の向上に努めた。

課題・方向性

学校施設の耐震化率は、岡山県の平均は上回ったが、全国と比較してまだ低い状況である。

平成 27 年度の耐震化完了を目途に、計画的に実施を図る。

また、学校施設の営繕・整備についても、危険度・緊急度等を勘案し、児童・生徒が安全で安心した学校（園）生活を送れるよう、教育環境の向上に努める。

学校施設空調設備設置事業については、計画的に実施を図る。

自己評価 B

学校施設の耐震化事業については、構造体については国の整備率と比較するとまだ低位であるが着実に進んでおり、新たに非構造体の耐震化にも着手し、国の補助事業、緊急防災対策事業債などを積極的に活用することにより、財源の確保に努め、事業推進を図った。

校舎等施設の整備と安全確保の推進については、緊急性の高かった大島小学校の教室の増設工事を実施し、新たに学校施設への空調設備の設置に向け実施設計を行うなど、危険度・緊急度を勘案した整備を実施した。

引き続き、限られた予算の中で、危険度・緊急度を勘案し施設整備を図っていきたい。

《 心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進 》

点検・評価項目 生涯学習による人づくりまちづくり

担 当 課 生涯学習課

目 標 生涯学習による人づくりまちづくりを目指して、知識・技能・学ぶ意欲を身につけ、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

事 務 事 業

1 生涯学習の推進

事業概要 自発的な学習の推進、学習機会の拡充、社会参加の活動の促進等、人づくり・まちづくりを推進する。

取組状況 (1) 生涯学習推進体制の充実

- ・企画委員会（11月12日）学習事業の企画開発、研究及び連絡調整
- ・懇話会（11月18日）関係団体それぞれの立場から、本部会に提言するとともに、関係機関及び団体の連絡調整
- ・本部会（11月26日）生涯学習推進のための施策及び方針の決定

(2) 生涯学習まちづくり出前講座（56講座）の開催

受講者数 26年度 11,183人 25年度 18,124人

(3) 市民大学教養講座（4回）の開催

受講者数 26年度 166人 25年度 159人

(4) 託児ボランティアの支援

託児ボランティア「たんぼぼ」への活動補助を行った。

(5) 生涯学習諸学級（幼児学級、女性学級、高齢者学級、成人学級、チャレンジ学級 26学級）の開催

参加者同士の親睦を深め、それぞれの地域での関わりを深めた。

参加者数 26年度 892人 25年度 861人

(6) 第26回生涯学習フェスティバル開催

「生涯学習まちづくり」を推進するため、学習者に活動成果を発表する場を設けた。また、講師に山下立次さんをお招きし、「スポーツの楽しさを求めて—北欧スポーツの実践から—」と題して講演を行った。

参加者数 26年度 3,000人 25年度 3,500人

(7) 県西部の文化（広域連携事業4回8講座）の開催

連携している3市2町の地域文化への高い学習意欲、熱心な取組が見られるが、参加者の高齢化と移動手段の確保が問題である。

受講者数 26年度 47人 25年度 47人

成 果 生涯学習フェスティバルは、来場者が減ったものの、いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができ、その成果を活かすことができるように工夫し、学びの楽しさ、大切さを再認識してもらうことができた。

生涯学習諸学級は、前年度より学級数が増加し、各地域での学習が確実に定着しつつある。

県西部の文化事業では、定員 40 名を超える申込みも全員を受け入れ、学びたいという気持ちに応えることができた。

2 社会教育関係団体の育成

事業概要 団体がそれぞれの立場で生涯学習に取り組むことができるよう、助言や支援を行い、社会教育関係団体の育成を図る。

取組状況 社会教育関係団体へ年間活動補助金を交付し、組織の円滑運営及び充実に努めた。また、社会教育関係団体が実施する事業について教育委員会が共催・後援することで各種団体の支援育成に努めた。

- (1) 女性団体育成事業（笠岡市婦人協議会）の支援
- (2) 家庭教育推進事業（笠岡市PTA連合会）の支援
- (3) 公民館活動推進事業（笠岡市公民館協議会）の支援

成 果 それぞれの団体が、自主的な運営ができるように、団体運営での諸問題に対して助言や支援を行った。各種事業への積極的な参加を呼びかけ、生涯学習、社会教育の充実に努めた。

3 公民館活動の推進

事業概要 地域の生涯学習の拠点として、地域課題や時代に即応した幅広い活動により地域づくり、まちづくりに努める。

取組状況 (1) 中央公民館主催・自主講座

項目	主催講座		自主講座	
	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
講座	7 講座	6 講座	49 講座	41 講座
開催回数	113 回	125 回	1,037 回	905 回
受講者	1,835 人	1,684 人	11,840 人	10,953 人

(2) 中央公民館講座修了作品展

開催日時	平成 26 年度	平成 25 年度
		平成 27 年 3 月 7～8 日
発表講座	56 講座	47 講座
来場者	841 人	612 人

(3) 地区公民館各種講座、文化祭等による作品発表会

地区公民館 20 館 348 講座開催（平成 25 年度 358 講座）

(4) 公民館指導者の育成

- ・ 公民館協議会（館長・主事会） 年2回開催
- ・ 主事研修会 年3回開催
- ・ 主事のパソコン・事務研修 年1回開催
- ・ 県公民館連合会等公民館等職員研修会 年9回参加

(5) 地区公民館活動助成事業

地区公民館 20 館 109 事業実施（平成 25 年度 101 事業）

(6) 公民館施設整備事業

施設・設備の整備については緊急度の高いものから整備を行っている。

整備費 【現年分】

項目	内容	平成 26 年度	平成 25 年度
公民館施設整備	整備費	11,001 千円	12,430 千円
地区公民館活動助成費	助成費	6,000 千円	6,000 千円

整備費内訳

公民館名	整備内容	事業費（千円）
笠岡東, 城見, 北川	空調設置工事	1,840
新山, 北木西	空調改修工事	815
大島	トイレ改修工事	2,470
今井・城見	外壁塗装工事	4,976
笠岡東	倉庫照明設置工事	271
神島	自転車置場等塗装工事	394
陶山	印刷機購入	235

成果 新規講座の開設により受講者が増加し、講座内容についても好評であった。老朽化した施設の改修及び利用者の高齢化に対応してバリアフリー化を実施し、安心して学習できる環境づくりに努力した。また、公民館活動助成事業では、地区公民館の創意工夫により、三世代交流事業等、若者の参加を推進した。

課題・方向性

生涯学習まちづくり出前講座や生涯学習フェスティバルでは、受講者や参加者の減少がみられる中、ニーズに応じた出前講座やフェスティバルのPR方法に工夫をし、生涯学習のまちづくりを推進していかなければならない。

公民館講座生の固定化がみられるため、引き続き新規講座による新たな受講者の確保が必要である。

子どもや若者、働き盛りの世代も含めて、地域住民全体が気軽に集える交流の場や居場所となるよう努め、若者が参加のできる地域づくりの拠点として社会の要請に的確に

取り組んでいかなければならない。

自己評価 B

社会教育関係団体が社会教育の充実に努められるように、活動に対する補助金を交付した。また、それぞれの団体の課題等に対し助言や支援を行い、充実した生涯学習、社会教育の実施ができるように努めた。

中央公民館、地区公民館等の社会教育施設を中心とした学びでは、それぞれの地域のニーズにあった講座等を実施し、施設ごとに創意工夫をしている。今後は、より一層地域のニーズにあった工夫等を行い、新規受講生を確保していきたい。

点検・評価項目

青少年の健全育成

担当課

生涯学習課

目 標

青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性・社会性を持った豊かな人間性を育むため、青少年の自立への支援、青少年を取り巻く有害環境対策の推進、自然体験活動の充実等により、青少年の健全な育成活動を推進する。

事 務 事 業

1 家庭教育の充実

事業概要 家庭や家族を取り巻く社会環境の著しい変化にともなう不登校やニート、引きこもりなど、様々な課題に対応するため、家庭教育機能の充実、相談体制の整備充実並びに家庭の教育力向上を図る。

取組状況 教育相談室事業（家庭教育相談・子育て相談・学校適応相談）の実施
<相談延数> 477件（本室443件、分室34件）

成 果 学校生活、家庭生活又は社会生活において悩みをもつ児童・生徒及びその保護者に対して、その悩みや不安を受け止めるとともに、学校教育と連携しながら保護者に相談、助言を行った。

2 家庭・学校・地域社会の連携強化

事業概要 青少年の健全育成を推進するため、家庭・学校・地域社会・関係機関等の連携を強化し、地域ぐるみで活動の拡大を図る。

取組状況 (1) 地区青少年健全育成推進事業（11地区）の実施
補助金を交付し、地域の状況に応じた青少年の健全育成に役立った。

(2) 第37回青少年健全育成推進大会の実施
明るい家庭づくり作文と青少年スピーチコンテストの優秀作品の発表を行った。

参加者数 26年度 200人 25年度 150人

(3) 明るい家庭づくり作文募集と文集発刊
1,383点の応募から優秀作品を選考し、文集にまとめ発行した。

(4) 子ども情報誌「ぼっけえかさおか わんぱく宝箱」発刊（4回）
イベント情報やクイズで好評を得た。

発行部数（1回あたり）26年度5,685部 25年度5,800部

(5) 第10回青少年スピーチコンテストの実施
小・中学生計10名が約120人の聴衆の前で自分の考えを披露した。

(6) たくましい笠岡っ子育成事業（市内全域9回）の実施
小学校3年生から6年生までの児童を対象として、事業を行い、

様々な自然体験活動を提供している。毎回定員を超える応募がある。

参加者数	26年度	205人	25年度	218人
------	------	------	------	------

(7) 放課後子ども教室の開催（市内9教室）

小学生が安全で安心して健やかに成長できるよう市内9か所で土曜日・日曜日、夏休み等の長期休暇期間を利用して年間約60日実施した。（笠岡東公民館、笠岡公民館、今井公民館、陶山公民館、大井公民館、大島公民館、神島外公民館、NPO法人子ども劇場笠岡センター、番町コミュニティハウス）

(8) 学校支援地域本部事業の実施（市内7地区）

校内環境整備、学習支援活動、安全指導支援活動等を地域住民による学校支援ボランティアにより、前年度より3地区多い7地区で実施をした。（金浦中学校区、新吉地区、大島地区、北木島地区、中央小学校区、神内地区、神島外浦地区）

(9) 土曜日教育支援事業の実施（市内7教室）

市内7か所で土曜日等における土曜日授業、土曜日の課外授業支援や土曜学習等として、保育士体験活動、茶道教室や英会話教室などを実施した。（笠岡東公民館、笠岡公民館、今井公民館、陶山公民館、大井公民館、大島公民館、NPO法人子ども劇場笠岡センター）

成 果 家庭・学校・地域の連携により、地域ぐるみで子どもたちの安全を確保し、地域の教育力の向上とともに子どもたちの健全育成に努めた。今年度から土曜日等の教育活動の促進と充実を図るため、「放課後子ども教室」を新たに「土曜日教育支援事業」として市内7か所で開始し、社会体験や自然体験を通して子どもたちに豊かで有意義な教育支援活動を提供した。

3 青少年団体の育成

事業概要 子ども会やスポーツ少年団等のグループ活動を奨励し、各種体験活動の機会を充実しながら、互いの連帯感やボランティア精神の醸成に努める。

取組状況 (1) 笠岡子どもフェスティバルの開催

連休のイベントとして定着しており、近隣の市町村からの参加者も多い。

参加者数	26年度	3,500人	25年度	3,500人
------	------	--------	------	--------

(2) 子ども会活動の促進への取組み

少子化、未組織化により笠岡市子ども会育成連絡協議会の運営が困難になってきている。単独事業から、実行委員会形式の事業への参加へ移行している。

(3) 高校VYS活動への取組み

市内の2高校を中心として結成されている高校VYSを育成している。

生涯学習フェスティバル、恵風荘の夏祭りなどの行事のサポート、放課後児童クラブ「ゆうゆう」での学童ボランティアなどの活動を行った。

笠岡商業高等学校、笠岡工業高等学校の2校の会員で運営しているが、市内の他の高校への広がりが課題である。

成 果 単位子ども会、高校VYS部員が減少する中、新たな取組として、子ども会ではパン作りを、高校VYSでは児童クラブでのボランティア活動を行うなど工夫をしながら団体又は会員数の減少に歯止めをかけるよう努力し、活動の場を広げることができた。また、子どもフェスティバルでは、今年度から大学へも体験コーナーへ出展を依頼し、体験活動の機会を充実しながら連帯感やボランティア精神の醸成を図り、子どもが一日のびのびと遊びながら体験することのすばらしさを実感することができた。

4 非行防止活動

事業概要 青少年の非行防止のため、家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・環境浄化・啓発活動等に取り組み、青少年の健全育成と地域社会の意識向上を図る。

取組状況 (1) 笠岡青少年育成センター（笠岡市及び里庄町青少年育成協議会）

- ・補導活動 専任指導員3人 指導員45人 相談員1人
- ・相談活動 メール相談8件 電話相談 3件 面接相談 2件
- ・有害環境浄化活動（白ポスト6か所設置）
- ・啓発活動（街頭キャンペーン 7,11月）のべ18団体56名参加
- ・研修会等の開催 「少年補導の現状と課題」「e-ネット安心講座」
- ・学校との連携 「高補連絡会」「中学校生徒指導連絡協議会」

(2) 研修会等への参加

- ・岡山県補導（育成）関係者研修会（玉野市） 12名
- ・四国少年院視察 17名
- ・全国青少年補導センター連絡協議会定期大会「栃木大会」 1名

成 果 家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・啓発活動を展開することにより、青少年の健全育成、非行防止、安全確保の推進をすることができた。また、公園やゴミの多い道路等、自主的に環境を浄化する活動に取り組む住民が増えてきている。

課題・方向性

事業の実施において、青少年の動向を踏まえた健全育成事業の実施や指導員をはじめとした育成事業のサポーターの拡充が必要である。また、子どもや青少年が夢や希望を持ち、安心して生活できる地域づくりが推進できるよう地域住民や関係機関との連携を深める必要がある。

さらには、子どもの能力を引き出すための各種事業については、関心や興味を持ち、より多くの参加が得られるよう創意工夫し充実を図る必要がある。

自己評価 B

家庭、学校、地域社会の連携を図りながら、青少年の健全育成に努力してきた。

家庭教育の充実では、今年度から新たに相談員を配置し、家庭や社会生活における悩みを学校教育と連携しながら相談、助言、指導ができるようにした。学校支援地域本部を拡充したり、土曜日教育支援事業を充実したりするなど、学校、家庭、地域の連携を強化し、地域ぐるみでの活動を確立することができた。

青少年団体の育成では、対象となる人数が少なくなる中で、団体それぞれが工夫を行い、充実した活動ができるよう、指導・助言を行った。

非行防止活動についても、家庭、学校、地域や関係機関と連携して、青少年の健全育成と地域社会での意識の高揚を図ることができた。

点検・評価項目

人権教育・啓発の推進

担 当 課

生涯学習課

目 標 笠岡市人権尊重の都市づくり条例や笠岡市人権施策基本方針に基づき、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、家庭・地域・職場等、あらゆる日常生活の場において人権尊重の精神が態度や行動に表れるような人づくりを推進する。推進に当たっては、指導者の資質と指導力の向上に努めるとともに、多様な学習機会を確保する。また、人権問題に起因する教育上の課題を克服するための支援に努める。

事 務 事 業

1 教育・啓発活動の推進

事業概要 同和問題をはじめとする様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」を中心に各活動を実施する。

取組状況 (1) 地域公民館人権啓発事業
(2) PTA人権教育推進事業（幼稚園，小・中学校PTA）
(3) 笠岡市教育集会所事業（自立促進，交流活動，相談事業等）
(4) 人権教育自立促進事業
(5) 子ども会活動への支援
(6) 社会教育諸団体等での研修（婦人協議会，女性学級，幼児学級等）
(7) 行政職員各種研修
(8) 笠岡市内企業・事業所等人権教育研修
(9) 多様な啓発活動（個別の人権問題についての啓発）
(10) 笠岡市人権教育講演会，笠岡市人権問題講演会
(11) 第28回笠岡市人権・部落解放文化祭

成 果 第28回笠岡市人権・部落解放文化祭人権講演会としては、1日目に清水絃子さんのトーク&ピアノ演奏のステージを行い、218名の参加があった。また、2日目には大湾昇さんの講演を行い、473名の参加があった。2日間の来場者は1,517名で、昨年度より増加した。

2 人権教育推進組織の活性化

事業概要 人権教育を推進するために、各委員会を設置し、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて、研修等を行う。

取組状況 (1) 笠岡市人権施策推進委員会
(2) 笠岡市人権教育推進委員会

- (3) 笠岡市教育集会所運営委員会
- (4) 笠岡市企業等人権問題連絡協議会
- (5) 第 28 回笠岡市人権・部落解放文化祭実行委員会

成 果 笠岡市人権教育推進委員会では、人権啓発ポスターコンクールを実施し、市内小・中学校より 185 点の応募があり、各学年最優秀 1 点・優秀 3 点を表彰し啓発活動に努めた。第 28 回笠岡市人権・部落解放文化祭実行委員会では、人権・部落解放文化祭の実施のために、企画・運営に取り組み、人権啓発に努めた。

3 指導者の養成

事業概要 人権担当者等の研修を行う。

- 取組状況
- (1) 行政職員人権問題指導者講座
 - (2) 人権保育研修講座
 - (3) 各種団体指導者研修
 - (4) 笠岡市人権啓発バンク

成 果 行政職員人権問題指導者講座では、国や市の人権施策についての研修や人権啓発ビデオを視聴し、様々な人権問題についての理解を深めた。

課題・方向性

人権問題を一人ひとりの問題として捉え、人権意識の高揚を図るためには、広い年齢層に対して、さまざまな人権問題について、継続した取組を行う必要がある。また、研修や啓発において、市民が理解しやすい内容にすることに努めていく必要がある。

自己評価 B

様々な人権問題の解決について、PTA人権教育推進事業を行い、学校・社会・地域での人権教育の推進を図ったが、参加者を増やすために内容の検討や呼びかけの仕方等工夫する余地がある。また、第 28 回笠岡市人権・部落解放文化祭を開催し、多くの人権学習の取組の成果を展示し、人権講演会では、広い年齢層に対して知的理解を深めるとともに人権感覚の育成を図った。

《 創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用 》

点検・評価項目 芸術文化活動の普及・振興

担 当 課 生涯学習課

目 標 市民参加による幅広い文化活動と文化施設の活用を促進し、文化を担う人づくりを推進する。

事 務 事 業

1 芸術文化活動の振興及び交流

事業概要 芸術文化活動への積極的な参加を奨励するとともに、心豊かな文化意識の高揚を図る。

取組状況

事業名	平成 26 年度	平成 25 年度
能・狂言体験学習（実施学校数）	7校	7校
名月観賞の夕べ（来場者数）	14会派 400人	14会派 500人
笠岡市菊花展（出品数）	250鉢	250鉢
（来場者数）	2,500人	2,500人
笠岡市芸能祭（来場者数）	13会派 500人	17会派 550人
笠岡市文化祭（出品数）	435点	450点
（来場者数）	2,000人	2,000人
笠岡市児童・生徒美術展（出品数）	546点	558点
（来場者数）	1,300人	1,700人
笠岡市さつき新緑展（出品数）	101鉢	105鉢
（来場者数）	587人	390人
笠岡市写真展（出品数）	137点	145点
（来場者数）	453人	376人
笠岡市美術展（出品数）	177点	177点
（来場者数）	1,000人	1,000人
森田思軒顕彰講演会（来場者数）	62人	60人
笠岡市立図書館（蔵書数）	158,542冊	152,701冊
（貸出冊数）	198,206冊	201,004冊
（利用者数）	46,457人	46,800人
（利用者カード登録者数）	14,588人	13,694人
（来館者数）	63,293人	67,652人

(映画会・読み聞かせ会・ 工作教室等自主事業参 加者数)	1,201人	1,109人
笠岡市立カブトガニ博物館 (入館者数)	59,734人	54,297人
特別展示・特別陳列 (入館者数)	(29,489人)	(26,558人)
内訳 「海—生命の歴史展」	20,137人	—
「追跡, カブトガニを追え!展」	9,352人	—
笠岡市立竹喬美術館 (入館者数)	12,400人	11,775人
「新発見, 再発見の竹喬」 (入館者数)	(1,810人)	—
「艶美の競演—東西の美しき女性」 (入館者数)	(3,071人)	—
「没後60年 菊池契月展」 (入館者数)	(2,806人)	—

()は内数

成 果 笠岡市文化祭をはじめ、小中学校では能・狂言の体験学習を実施し、児童・生徒の伝統芸能への関心や理解を深めるなど、多数の市民参加による文化振興事業の活性化を図った。

図書館の貸出冊数や利用者数は微減となっているものの、人口比での1日当りの利用は前年並みである。レファレンスは相談件数が増加傾向にあり、内容は歴史的なものや専門的なものになっている。子ども司書養成講座等を通じて子供の読書活動を支援し、すべての利用者の情報ニーズに応えられるよう努めた。また、エレベーターを設置し、安心して利用できる施設とした。

カブトガニ博物館においては、特別展示「海—生命の歴史展」、そして、特別陳列「追跡, カブトガニを追え!展」を開催し、カブトガニと海の環境保護の啓発と年間の入館者数の増加に努めた。

竹喬美術館では、特別展「新発見, 再発見の竹喬」を開催し、2009年の「生誕120年小野竹喬展」以降に新たに確認された74点を紹介し、全国の竹喬ファンから大きな反響を得た。他にも特別展2展を行い、全国から多くの来館があった。

2 文化施設及び文化環境の整備

事業概要 文化活動の拠点となる文化施設の整備及び機能の充実と連携を図り、活力ある文化環境の整備を図る。

取組状況

事業内容	平成 26 年度	平成 25 年度
カブトガニ博物館施設改修事業 外壁塗装, 館内設備修繕, 展示用恐竜模型製作, 改修	29,346 千円	8,811 千円

成 果 カブトガニ博物館では、外壁塗装改修工事、空調機等の館内設備改修、動く恐竜バリオニクスの改修など展示物の充実を図り、来館者の関心を集め、かつ快適な博物館づくりを行った。

3 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携

事業概要 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と連携を密にし、財団と一体になって地域文化の振興を図る。

取組状況

項目	平成 26 年度	平成 25 年度
笠岡市木山捷平文学選奨（応募者数）	237 人	252 人
※平成 21 年度から短歌・俳句・川柳の 小中学生の部を新設	2,354 人	2,275 人
※平成 25 年度から詩・短歌・俳句・川 柳の一般の部に高校生特別賞を新設	120 人	129 人
優秀映画鑑賞会（参加者数）	43 人	82 人
文化活動後援事業（後援件数）	98 件	94 件
文化活動賞揚事業（賞揚件数）	4 件 3 人	3 件 7 人
民俗芸能支援事業（補助金）	真鍋島の獅子舞・棒術の活動支援	

成 果 笠岡市木山捷平文学選奨は第 10 回となり、全国公募の短編小説は 43 都道府県から 237 作品（前年△15 作品）、他部門は 2,474 人（前年+70 人）で、木山捷平の偉業を全国に発信することができた。

また、優秀映画鑑賞会、文化活動の後援、全国大会に加え新たに中国大会出場者への賞揚、文化特別賞の表彰、伝統文化の活動支援を実施し、地域文化の高揚を図った。

課題・方向性

芸術文化活動は、市民参加による文化活動を推進し文化意識の高揚を図っていく。これを奨励し推進していくために、事業後援を進めていく。民俗芸能支援事業は今後も継続し、市内の伝統文化振興の一助としたい。

文化施設の改修や充実は、これからも計画的に行い展示品の充実を図っていく必要が

ある。

笠岡市木山捷平文学選奨事業についても、木山捷平の足跡を顕彰し、豊かな市民文化の振興を図っていくために継続していく。

自己評価 A

芸術文化活動については、小中学校で能・狂言の体験学習を実施し、伝統芸能への関心や理解を深めることができた。

図書館のエレベーター設置、カブトガニ博物館や竹喬美術館の特別展など、それぞれの館の役割を認識し、文化活動の拠点となる文化施設としての環境整備に努めていきたい。

平成 25 年度末にオープンした井笠鉄道記念館は、開館から 1 年間で約 3,000 人の来館者数を記録した。写真の展示会の開催、井笠鉄道クリアファイルの作成等による PR を行い、施設の保存と活用による地域の活性化に貢献することができた。

笠岡市木山捷平文学選奨の応募者数は安定的に推移しており、短編小説賞での応募者も全国的な広がりを見せている。

民俗芸能支援事業は、地域への愛着、郷土愛を育み、地域を愛する子どもを育成することができた。また、団体への支援により、市内の伝統文化の振興を図ることができた。

点検・評価項目

文化財の保護・保存と継承

担 当 課

生涯学習課

目 標 文化財の保護・保存と継承を図るため文化財を調査研究し、保存管理に努める。また、民俗、考古、歴史資料の収集に努め、適切な保護・保存と公開展示に努める。

事 務 事 業

1 文化財の調査研究と啓発・活用

事業概要 (1) 文化財の保護事業

先人から受け継いだ歴史と伝統を守り、後世に伝えるとともに、それを大切に思う風土を育む。そのために、優れた文化財の保護・保存を図る。また、急激な変化や消滅の危機にさらされた文化財を調査し、適切な記録・保存を図る。

(2) カブトガニの保護・増殖事業

笠岡を代表する天然記念物「カブトガニ繁殖地」を維持するために、カブトガニの増殖と繁殖地の保護・啓発活動に取り組む。

(3) 文化財の活用事業

郷土館や長福寺裏山古墳群などの文化財関連施設を管理するとともに、文化財を活用し保護意識の高揚を図る。

取組状況 (1) 文化財の保護事業

史跡「津雲貝塚」保護のための調査事業として、貝塚の範囲確認発掘調査及び過去の出土品調査等を実施した。原貝塚で出土した縄文人骨の復顔模型作成を行った。また、「おしぐらんご」で使用する和船の修理を行うなど、指定文化財の保護に努めた。

(2) カブトガニの保護・増殖事業

5月から10月にかけてカブトガニの幼生を約22,000匹を放流した。また、干潟の荒廃を防ぐため、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を行った。繁殖地内のカブトガニ産卵調査で21箇所の産卵を確認し、223匹の幼生を確認した。

(3) 文化財の活用事業

井笠鉄道記念館の資料として井笠鉄道すごろくクリアファイルを作成した。津雲貝塚調査事業については大島中学校2年生による発掘体験を実施するとともに「津雲貝塚通信」を配布し普及啓発に努めた。

成 果 津雲貝塚の保存に向けて、遺跡現地と過去の出土品の実態解明が進んでいる。

カブトガニ繁殖地周辺においては、平成21年度から6年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができた。また、福山大学との共同調査では、18年ぶりとなるカブトガニの自然産卵の様子を映像に収めることができた。幼生放流と合わせて保護したカブトガニの成体放流行事を行うことができ、カブトガニと繁殖地の保護の成果が現れている。

2 文化財資料の収集・整理

事業概要 笠岡市に関する文化遺産を収集・整理し、後世に伝える。また、その成果を郷土館等で展示し、市民に還元する。

取組状況 歴史資料、考古資料の寄贈が5件あった。うち1件は、井笠鉄道株式会社の資料であり、散逸防止のため一括で受け入れた。受納資料は順次整理し、保管している。

成 果 資料の寄贈・寄託を受け入れることで、文化財の散逸・廃棄を防止することができた。井笠鉄道株式会社資料は、展示や講演会等で活用を行っている。

課題・方向性

津雲貝塚調査事業は、当面継続して実施するので、引き続き多大な労力を要する必要がある。今後は、発掘調査と活用事業との両立が課題である。また、所蔵の考古資料、文書資料、民俗資料の数は年々ふくれあがっている。今後の管理・活用のために、さらに整理を進めていく必要がある。

カブトガニ保護・増殖のために、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を継続的に行うとともに、カブトガニ保護啓発運動や海岸清掃活動を通して、市民ぐるみでの笠岡の海の環境保護に努める必要がある。

自己評価 A

文化財の保護・保存と継承を図るため、引き続き史跡「津雲貝塚」の保存に向けて、調査を継続した。その他の文化財についても、調査研究、保存管理に努めた。

カブトガニ繁殖地周辺において、6年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができるなど、確実に保護活動が実を結びつつある。

今後も、カブトガニの保護・啓発を通して天然記念物「カブトガニ繁殖地」の保護並びに海の環境保護意識の高揚に努めたい。

《 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上 》

点検・評価項目	生涯スポーツの推進
担 当 課	スポーツ推進課

目 標 健康で生きがいを持った生活を送るための生涯スポーツ実施者の増加を図る。

事 務 事 業

1 各種教室・大会の開催，地域スポーツ団体の支援・育成

事業概要 初心者を対象としたスポーツ教室や誰でも参加できるニュースポーツ大会等を開催して，生涯スポーツの推進を図る。

取組状況（1）各種教室・大会の開催

教 室	対 象	平成 26 年度	平成 25 年度
バスケットボール教室	小学生	192 人	119 人
陸上競技教室	小学生	145 人	176 人
レスリング教室(マット教室)	小・中学生	106 人	33 人
バドミントン教室	小 4 以上	63 人	72 人
卓球教室	小 4 以上	142 人	58 人
テニス教室	高校生以上	140 人	47 人
親子水泳教室	4 歳～小 3 親子	112 人	137 人
シャフルボード講習会	制限なし	159 人	112 人
幼児スポーツ教室	幼児・園児	78 人	—
オリエンテーリング大会	制限なし	125 人	176 人
ニュースポーツ大会 (シャフルボード)	小学生以上	144 人	156 人

（2）地域スポーツ団体の支援・育成

団 体	平成 26 年度	平成 25 年度
スポーツ少年団	357 人 (14 団)	365 人 (14 団)
総合型スポーツクラブ	367 人 (3 団体)	298 人 (3 団体)

成 果 少子化が進み，スポーツ少年団員数も年々減少している中で，指導者と地域の密接な連携を図り活動することで，団数の確保に繋がっている。また，総合型スポーツクラブや各種教室・大会など市民のニーズに合った事業を展開することで，子どもから高齢者まで生涯スポーツの推進が図られた。

2 スポーツ推進委員活動の充実

事業概要 研修により市民のスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の資質を向上させるとともに、スポーツ推進委員が地域に出向いてニュースポーツ等の指導を行い、生涯スポーツの推進を図る。

取組状況 (1) スポーツ推進委員の研修会開催

事業	平成 26 年度	平成 25 年度
生涯スポーツ推進企画会議	7 回	7 回
実技研修会開催 H25 ティスコン・ラダーガッター・ラジオ体操・ インディカ・ドッジボール H26 救急救命講習・カローリング	2 回	4 回

(2) スポーツ推進委員派遣事業の拡大

事業	平成 26 年度	平成 25 年度
体力テストの実施	1 回	1 回
地域派遣推進事業	59 回 78 人	76 回 127 人 (うち幼児 スポーツ 36 回)

成果 スポーツ推進委員の知識・技能向上のため、全国・中国・県内の研修会へ積極的に参加し、専門的知識と指導力の向上を図った。また、スポーツ推進委員を地域に派遣し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした、健康体操やニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーションを推進した。

3 スポーツ情報の提供

事業概要 スポーツに関わる機会の提供を行うため、スポーツカレンダーの作成、市広報、ホームページを利用して、スポーツ団体、スポーツイベントの情報を発信する。

取組状況 (1) スポーツイベント情報の提供

広報、新聞、テレビなどのメディアを使ってスポーツイベントの情報を提供を行った。また、スポーツカレンダーを作成し、体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへの掲載を行った。

(2) スポーツ団体情報の提供

市内で活動するスポーツ団体から収集した情報を情報誌「笠岡市スポーツサークル」にまとめて体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへ掲載した。

成 果 様々な情報提供の形態を確立し、多くの人へのスポーツ情報の提供が可能となった。

課題・方向性

平成20年度に実施した「運動・スポーツに関する調査」結果から、「きっかけがあれば何らかのスポーツをしてみたい、考えてみたい」という回答が8割を占めている。

特に、体力・健康づくり、スポーツを通じた高齢者の生きがいつくりに関する情報の希望が5割という状況から、子どもから高齢者まで、生涯にわたりスポーツ活動が実践でき、気軽に参加できる、大会・行事・イベントの情報を提供していく必要がある。

自己評価 B

現在、市内のスポーツ施設の大会情報を取りまとめて情報を発信しているが、公民館等各種団体と連携し、主催する行事・イベント情報を掲載し、生涯スポーツ誌として市民ニーズに沿った充実したものに展開していく必要がある。

点検・評価項目 スポーツ・レクリエーション施設の
整備・充実と活用

担 当 課 スポーツ推進課

目 標 いつでも・どこでも・だれでも快適にスポーツが行える環境を整える。

事務事業

1 施設整備及び充実

事業概要 利用者が安心してスポーツが楽しめるよう、施設の改善を行った。

取組状況

事業名	事業費
笠岡総合運動公園防犯カメラ設置工事	1,600 千円
笠岡陸上競技場光波測定器設置	3,705 千円

成 果 利用環境の整備を行い、安全で快適な利用に繋がった。

2 利用しやすい環境の整備

事業概要 老朽化した施設や設備の修繕，利用者から要望が出ている事項の改善を行い、快適なスポーツ環境の整備に努める。

取組状況

事業名	事業費
大井グラウンドトイレ修繕	103 千円
大井グラウンド利用啓発看板設置	65 千円
大井南グラウンド水道漏水修繕	64 千円
大井グラウンド手洗場修理	22 千円

成 果 利用者が快適かつ安心して利用できるようになった。

課題・方向性

整備・充実(大規模改修)すべき施設がまだ多くある。今後計画的に整備を行う。

自己評価 B

大規模改修施設について、緊急かつ効果的な修繕対応を継続して実施する。

点検・評価項目	競技スポーツの推進
担 当 課	スポーツ推進課

目 標 競技スポーツ人口の増加と競技力の向上を図る。

事 務 事 業

1 各種スポーツ大会の開催

事業概要 練習の目標として、練習の成果確認の場として、あるいは選手相互の研
さんの場とするために各種スポーツ大会を開催する。

取組状況 スポーツ大会の開催

大 会 名	平成 26 年度	平成 25 年度
笠岡市民体育大会	1,661 人	1,977 人
べいふあーむ笠岡マラソン大会	2,372 人	1,902 人
カブトガニ駅伝大会	708 人	660 人
子どもソフトボール大会	8 チーム	9 チーム
青少年柔剣道大会	107 人	87 人
バドミントン大会	174 人	156 人

成 果 継続した大会を開催することにより、競技人口の確保が図られた。

2 競技会等の支援

事業概要 競技レベルを向上させる為に実業団やプロスポーツ選手の招へいや大会
の支援を行う。

取組状況

競 技 会 名	平成 26 年度	平成 25 年度
べいふあーむ駅伝大会	23 チーム	30 チーム

成 果 べいふあーむ駅伝(実業団)では、全国レベルの実業団駅伝を継続的に笠
岡市で行うことで、競技者及び指導者のレベルの向上に繋がっている。

3 優秀選手の表彰

事業概要 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と予選会を経て中国大会・
全国大会や国際大会に出場する選手・団体に賞揚金を交付するとともに、
全国大会以上の大会に出場の場合は激励会を開催して意気の高揚を図る。

取組状況

＜中国大会・全国大会等優秀選手の賞揚＞

平成 26 年度 2 団体 140 人 平成 25 年度 1 団体 80 人

成 果 賞揚を受けた選手自身のレベルアップと意欲の高揚となるとともに、周
辺関係者への刺激ともなり、競技スポーツの推進につながった。

4 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等との連携

事業概要 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会などと連携して各種大会，
選手等の賞揚を行い，より広くスポーツ推進を展開する。

取組状況

- (1) 各種スポーツ大会の運営委託
- (2) 各種スポーツ大会の共催・後援等

大 会 名	平成 26 年度	平成 25 年度
バレーボール大会（中学生）	4 チーム	4 チーム
少年野球フェスティバル	16 チーム	16 チーム
ソフトテニス大会	172 人	208 人
バレーボール大会（一般）	105 人	90 人
ソフトボール大会	2 チーム	5 チーム
空手道選手権大会	22 人	19 人
ソフトバレーボール大会	150 人	—
ゲートボール大会	40 人	45 人
ペタンク大会	30 人	48 人
年齢別卓球大会	104 人	206 人
バドミントン大会	170 人	246 人
グラウンド・ゴルフ大会	213 人	206 人
スポ少ソフトボール交歓大会	8 チーム	10 チーム
剣道大会	22 人	24 人
サッカーフェスティバル	24 チーム	24 チーム

- (3) 全国大会出場者（団体）激励会の開催
- (4) 全国大会等功績者の特別表彰

成 果 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等と連携する事により多
様な大会を開催し，広くスポーツ推進を展開した。また，多くのスポーツ功
労者の賞揚ができ，選手の支援や競技スポーツの振興に寄与した。

課題・方向性

笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等と密に連携し，①選手への支援，②スポーツ指導者の養成，③大会の開催・誘致に取り組み，競技スポーツの推進を図る必要がある。

自己評価 B

競技スポーツ推進の一環として，大会開催の支援，選手への賞揚等を行い，競技スポーツ全体のレベルアップを図り，スポーツに対する市民意識の高揚に繋がった。

<H26年度評価委員の総合評価>

Ⅲ 評価委員の総合評価

松 畑 熙 一 委 員

「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」及び関連諸資料の点検に基づいて、笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況を見ると、教育委員会での審議内容や施策などへの反映状況が整然と整理されていて、取組の実際が十分理解できるものとなっている。また、本点検・評価の目的として掲げられている「効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくこと」の目的も概ね達成されている。

「笠岡市教育行政重点目標」の主要施策の遂行において、重点施策毎に目標・指標に基づく達成状況やさらなる課題がかなり具体的に示され、順調な成果を上げつつあることを知ることができ、総合的にみて「概ね達成された」と、高く評価できる。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

- 1 全体目標である「心豊かで活力ある人づくりまちづくり」を達成していく上においては、その第一目標の「心の豊かさ」とは何かを明確にする努力が重要である。単に「モノの豊かさ」と対比するのではなく、「モノを大切に作る心」も含めて具体的・統合的に考えて進めるようにしてほしいこと。
- 2 「確かな学力」育成プロジェクトに関しては、一定の成果を上げていることは評価されるべきであるが、「確かな学力」の基本は、「自ら進んで学びに向かう力」（自己教育力）であることを前提とした広義の学力育成に努力してほしいこと。
- 3 「自然に生かされて生きる力（＝自然人間力）」を育てる前提に立って、たとえば、「食育[＝命の教育]」であり、動植物の命をいただく「いただきます」の精神の徹底を図るなど、自然と人間の関係を重視した教育（たとえば「残食率」を減らすこと）に努力してほしいこと。
- 4 いじめ・不登校などの非社会的行動については、その発生件数を減らす方向の中で、単なる表面的な「対策的対応」ではなく、すべての児童生徒に起こりうる問題として捉え、子ども同士、子どもと教員及び親子の信頼関係を深める方向で対応していくことが

重要である。さらには、単なる「いじめっ子・いじめられっ子」のレベルだけで考えるのではなく、現代の社会的・家庭的・学校的実態の何がどのように非社会的行動を助長しているかの基本認識を共有してゆくこと。

- 5 教育委員，事務局員及び教職員の研修については，できる限り研修成果を共有し，所属部局を越えた相互連携によって互いの資質向上と教育行政・実践活動の改善・充実となるよう努めること。

佐藤芳子 委員

「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」とヒアリングによる口頭の説明、各種資料等から勘案したところ、今年度は責任の所在を明確化することで教育委員長、教育長制度が大きく変わった年度であり、規則の改正の事務手続き等激務な一年だったと思います。このような中、教育行政重点四施策は全般に誠実に執行されており高い評価がなされます。

各分野で気付いた点を下記に述べます。

1 教育委員会の運営状況について

定例会は毎月一回開催、必要に応じ臨時会を開催され、案件は事前に確認されていて、スムーズな会の運営に努められています。県内外の視察・意見交換がされており、教育行政に反映され積極性を感じます。学校現場へは幼稚園3園、小学校5校、中学校3校を視察されよくこなされています。しかし、1日の内に3～4校の教育施設訪問は、1箇所あたり短時間の視察と思います。現場の観察・意見交換が形式的にならないよう工夫が必要です。

教育委員の皆様からの発案でテーマを決め、外部講師等を招いてのミーティングで自主研修をされ、教育に反映されることを望みます。

学校規模適正化については、丁寧に地元説明がなされています。多くの方のご賛同が得られるよう努め、第一に子どもたちの成長に大切な教育がされることを考えて計画の推進を望みます。

2 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進について

学力向上は「笠岡市確かな学力育成プロジェクト」の効果が出てきていると思います。生き抜く力を身につけるには「知・徳・体」を確実に低学年から学習していくことが大切です。授業の改善や補充授業をさらに進めていただきたい。

幼児教育は3年保育幼稚園となり充実してきました。子どもたちは最初の集団教育で一生懸命に学んでいます。保護者から「しっかりしてきた。」と期待の声の一方、「注意を受けた。どうしたらいいのか。」と不安の声を聞きます。解りやすく丁寧な説明に努めていただきたい。

メール、ライン等によるいじめやからかい、大人の見えないところでエスカレートしています。ネットパトロールの充実とともに保護者向け、中学生向け、小学生向けにネットモラルの啓発に努められたい。

3 創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用について

文化財の保護，芸術文化活動は，よくなされています。木山捷平文学選奨の応募は全国に広がっており，小学生から高齢者までの年代となっている。小学生は良い作品をと頑張っていると聞きます。継続した事業であるよう願っています。

4 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上について

マラソン大会の出場者から「走りやすいコース。参加賞が工夫されている。」と良い評価を聞いています。全国から色々なスポーツ大会に参加していただけるよう努めてください。

竹之内 金太 委員

平成 26 年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づき、各担当課から内容について丁寧な説明を受けました。近年の教育課題を的確に捉え、多岐にわたる取り組みを推進しておられることにまずもって敬意を表します。そして、いずれの項目についても、評価指標 A（予定どおり目標が達成された。）、または、評価指標 B（概ね達成された。）という評価がついており、堅実な教育行政が遂行されていることが分かりました。

生活様式・社会情勢の変化により、教育課題も常に変化しています。笠岡市では、それを的確に分析し、時流に流されることなく、堅実な教育行政を推進されていることは、報告書からよく分かると思いますが、私が感じる課題について意見を述べます。

- 1 『自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進』では、事業の取り組み成果の一つの指標として、学力状況調査結果が示されており、県平均より概ね良かったことは評価できます。その中で理科の結果が今一步であったのは、理科の結果を出している他県で、体験学習をより強く推進している事例などを参考に、改善を図ることが求められます。ただ、学力調査結果に振り回されることなく、本来求められている、『自立した子どもの育成』のために行われている諸施策が持続可能なものであり、継続性のあるものとなるように更なる改善・工夫がなされることを期待します。「幼児教育の充実」、「学習規律や授業改善」、「特別支援教育の充実」が、一層の教員の意識改革、家庭や地域との連携を進めることにより図られればと考えます。生活が快適になりすぎた現代、家庭・地域で子どもが役立ち感を持つ機会が極めて少なくなっています。今までの地域と学校との関わりにおいて何が変わり、何が変わっていないのかを検証し、自立した子どもを育てるために何が必要なのかを地域・保護者と学校で意識をそろえ、足並みを揃えた取り組みを構築する必要があると考えます。地域・保護者と学校との役割分担と連携を今の時代に即して常に模索していったほしいと思います。

調査結果の中で、自己肯定感が県平均より低い結果については、見方によれば謙虚さの表れの一面もあると思います。相対的自己評価では、都市部の子どもに比べて控えめな面があることは否めません。自分の良いところを生かせる自立した子どもとして成長できるよう、この地域の子どものに適した大人の支援は欠かせないと思います。また、食育の授業を通じて、食の生活習慣の大切さを教えることは大切で、保護者の協力を得るための啓発の工夫が更に求められます。

- 2 『心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進』では、『青少年の健全育成』事業において、子どもの人数が減少する中で社会教育関係団体の活動の衰退が懸念されています。それ

を補う対策として、教育委員会として各団体への支援を強力に推進されていることがよく分かります。報告書の中で育成事業のサポーターの充実の必要性を論じてありますが、子ども会活動、PTA活動など年々人の入れ替わりがある団体の活動を保障するには、教育委員会と連携してそれらの団体の活動を支援するサポーターの存在は欠かせないと思います。それに必要な人材バンクを効果的に機能させることが出来ればと思います。

人権教育・啓発の推進では、さらに市民が理解しやすい内容の検討や呼びかけを、一層工夫して実施されることを期待します。

- 3 『創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用』については、評価指標Aがついた『芸術文化活動の普及・振興』では、様々な芸術文化活動事業を運営・後援し、継続的に市民参加の実が上がっています。そして、文化施設の環境整備について施設の保存と活用を適切に行い、地域の活性化に大いに貢献していることがうかがえます。「カブトガニ博物館」、「笠岡市木山捷平文学選奨」は、笠岡市を全国に発信できる大切な市民文化で、継続的に充実した取り組みが推進されています。また、『文化財の保護・保存と継承』は、地道な活動ですが、『津雲貝塚』保護事業、『カブトガニ』の保護・増殖事業の成果が市民の目に見える形で行われてきています。これらの取り組みは、高く評価でき、他の文化活動の推進役としての役割が期待されます。

- 4 『豊かな生涯スポーツの推進』では、市民が気軽に参加できる事業の継続と専門性を高いレベルにまで引き上げる事業の推進が必要であると考えます。スポーツの裾野を広げることと技術力の向上を図ることが一体となった取り組みを更に進めていかれるよう期待します。

IV 資料

平成26年度 教育関係決算総括表

歳入

(単位：千円)

款	26年度 決算見込額A	25年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
12 分担金及び負担金	3,796	3,743	53	1.4
13 使用料及び手数料	50,263	53,736	△ 3,473	△ 6.5
14 国庫支出金	157,589	174,039	△ 16,450	△ 9.5
15 県支出金	12,355	8,843	3,512	39.7
16 財産収入	88	131	△ 43	△ 32.8
17 寄附金	12,330	2,904	9,426	324.6
18 繰入金	70,867	7,204	63,663	883.7
20 諸収入	32,998	29,964	3,034	10.1
21 市債	203,800	369,000	△ 165,200	△ 44.8
一般財源	1,686,745	1,655,597	31,148	1.9
合計	2,230,831	2,305,161	△ 74,330	△ 3.2

歳出

(単位：千円)

款	26年度 決算見込額A	25年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
01 教育総務費	235,105	247,828	△ 12,723	△ 5.1
02 小学校費	572,180	588,366	△ 16,186	△ 2.8
03 中学校費	253,308	364,857	△ 111,549	△ 30.6
04 幼稚園費	220,241	210,301	9,940	4.7
05 社会教育費	588,424	554,341	34,083	6.1
06 保健体育費	361,573	339,468	22,105	6.5
教育関係合計	2,230,831	2,305,161	△ 74,330	△ 3.2

◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	対前年比率		
主な経費	児童報償費	決算(千円)	46	43	38	39	35	35	100.0	卒業記念
		1人当たり(円)	89	85	84	82	83	85	102.4	
	消耗品費	決算(千円)	34,955	23,637	33,682	25,439	24,753	22,859	92.4	
		1人当たり(円)	12,637	9,126	13,361	10,354	10,665	9,995	93.7	
	実習実験用 消耗品費	決算(千円)	585	758	640	0	0	0	0.0	H24より消耗品費へ移行
		1人当たり(円)	211	293	254	0	0	0	0.0	
	燃料費	決算(千円)	2,845	3,566	3,941	4,050	4,405	3,783	85.9	
		1人当たり(円)	1,029	1,377	1,563	1,648	1,898	1,654	87.1	
	光熱水費	決算(千円)	29,305	30,050	30,240	30,655	31,368	32,469	103.5	
		1人当たり(円)	10,595	11,602	11,995	12,477	13,515	14,197	105.1	
	修繕料	決算(千円)	8,998	9,678	10,790	11,736	14,090	12,957	92.0	
		1人当たり(円)	3,253	3,737	4,280	4,777	6,071	5,666	93.3	
	プール維持 管理費	決算(千円)	6,314	6,321	6,208	6,529	6,324	6,102	96.5	
		1人当たり(円)	2,283	2,441	2,463	2,657	2,725	2,668	97.9	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	2,699	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	100.0	
		1人当たり(円)	976	1,042	1,071	1,099	1,163	1,181	101.6	
	図書購入費	決算(千円)	3,856	6,552	5,100	8,007	6,354	5,569	87.7	
		1人当たり(円)	1,394	2,530	2,023	3,259	2,738	2,435	88.9	
	教材備品 購入費	決算(千円)	8,075	8,583	8,738	9,049	17,482	14,962	85.6	19年度から備品の取扱基準が変更(1万円→3万円)
		1人当たり(円)	2,919	3,314	3,466	3,683	7,532	6,542	86.9	
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	2,170	2,163	2,042	2,031	2,061	1,836	89.1		
	1人当たり(円)	785	835	810	827	888	803	90.4		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	22,034	17,338	21,771	36,909	21,500	18,389	85.5		
	1人当たり(円)	7,966	6,694	8,636	15,022	9,263	8,041	86.8		
学校建設費	決算(千円)	158,656	80,972	210,401	118,056	345,323	326,175	94.5	耐震補強工事7校 大島小学校改造工 事	
	1人当たり(円)	57,359	31,263	83,459	48,049	148,782	142,621	95.9		
小学校費	合計(千円)	246,985	276,192	428,348	334,378	588,366	572,180	97.3		
	1人当たり(円)	89,293	106,638	169,912	136,092	253,497	250,188	98.7		

児童数(人)	2,766	2,590	2,521	2,457	2,321	2,287	98.5
6年生(人)	518	508	454	473	424	413	97.4

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	対前年比率		
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	165	159	149	155	143	126	88.1	卒業記念
		1人当たり(円)	343	338	330	328	320	323	100.9	
	消耗品費	決算(千円)	11,698	12,040	11,764	11,894	12,353	12,370	100.1	
		1人当たり(円)	8,314	8,612	8,549	9,059	9,719	10,308	106.1	
	実習実験用 消耗品費	決算(千円)	589	636	639	0	0	0	0.0	H24より消耗品費へ移行
		1人当たり(円)	419	455	464	0	0	0	0.0	
	燃料費	決算(千円)	1,158	1,352	1,192	1,162	1,335	1,234	92.4	
		1人当たり(円)	823	967	866	885	1,050	1,028	97.9	
	光熱水費	決算(千円)	15,429	16,068	16,732	17,401	18,032	18,668	103.5	
		1人当たり(円)	10,966	11,494	12,160	13,253	14,187	15,557	109.7	
	修繕料	決算(千円)	3,660	5,767	5,799	5,937	7,796	8,418	108.0	
		1人当たり(円)	2,601	4,125	4,214	4,522	6,134	7,015	114.4	
	プール維持 管理費	決算(千円)	726	660	831	752	1,130	1,010	89.4	
		1人当たり(円)	516	472	604	573	889	842	94.7	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	100.0	
		1人当たり(円)	1,137	1,144	1,163	1,219	1,259	1,333	105.9	
	図書購入費	決算(千円)	3,926	6,049	4,916	7,963	5,006	4,281	85.5	
		1人当たり(円)	2,790	4,327	3,573	6,065	3,939	3,568	90.6	
	教材備品 購入費	決算(千円)	3,974	3,929	4,124	4,176	8,052	6,002	74.5	19年度から備品の取扱基準が変更(1万円→3万円)
		1人当たり(円)	2,824	2,810	2,997	3,181	6,335	5,002	79.0	
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	1,076	1,025	1,024	1,045	1,059	944	89.1		
	1人当たり(円)	765	733	744	796	833	787	94.5		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	12,070	13,182	16,155	13,263	14,370	12,976	90.3		
	1人当たり(円)	8,579	9,429	11,741	10,101	11,306	10,813	95.6		
学校建設費	決算(千円)	5,225	144,949	4,953	199,425	175,202	68,153	38.9	耐震補強工事2校	
	1人当たり(円)	3,714	103,683	3,600	151,885	137,846	56,794	41.2		
中学校費	合計(千円)	176,560	289,392	149,439	371,862	364,857	253,308	69.4		
	1人当たり(円)	125,487	207,004	108,604	283,216	287,063	211,090	73.5		

生徒数(人)	1,407	1,398	1,376	1,313	1,271	1,200	94.4
3年生(人)	481	471	451	473	447	390	87.3

※ 生徒数は5/1現在の人数。

◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

幼稚園配当予算

科 目		21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 決算額	25年度 決算額	26年度 決算見込額	対前年比率	説 明	
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	234	293	280	341	305	216	70.8		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,806	1,859	1,742	1,680	1,782	2,142	120.2	教師用含む
		1人当たり(円)	6,040	6,500	5,826	6,131	6,253	8,176	130.8	
	燃料費	決算(千円)	636	803	861	924	899	798	88.8	
	食糧費	決算(千円)	10	10	10	10	10	9	90.0	
	印刷製本費	決算(千円)	86	77	97	75	64	74	115.6	
		1人当たり(円)	288	269	324	274	225	282	125.3	
	修繕料	決算(千円)	112	120	82	84	69	86	124.6	
	小計	決算(千円)	2,650	2,869	2,792	2,773	2,824	3,109	110.1	
役務費	通信運搬費	決算(千円)	33	32	30	29	29	28	96.6	
		1人当たり(円)	110	112	100	106	102	107	104.9	
	手数料	決算(千円)	156	167	172	172	197	173	87.8	
小計	決算(千円)	189	199	202	201	226	201	88.9		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	217	224	791	218	494	987	199.8		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	349	367	366	347	304	317	104.3		
	1人当たり(円)	1,167	1,283	1,224	1,266	1,067	1,210	113.4		
計	予算(千円)	3,639	3,952	4,431	3,880	4,153	4,830	116.3		
園児数(人)		299	286	299	274	285	262	91.9		

教育総務課関係

通信運搬費	決算(千円)	823	820	828	835	710	704	99.2	
光熱水費	決算(千円)	2,679	2,891	2,967	3,048	2,984	3,139	105.2	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,099	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	100.0	
修繕料	決算(千円)	1,736	1,838	1,086	1,876	1,979	1,889	95.5	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	3,779	1,464	19,733	3,000	2,897	2,969	102.5	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	980	2,670	4,653	2,009	1,934	1,415	73.2	19年度から備品の取扱基準が変更(1万円→3万円)
計	決算(千円)	11,096	10,783	30,367	11,868	11,604	11,216	96.7	

※ 園児数は5/1現在の人数。

平成26年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
教育費 2,230,831	スクールポート運営管理事業	15,222	高島と六島の児童・生徒の通学
	英語だいすき!かさおかっ子育成事業	35,199	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手(ALT)を小・中学校に7名配置
	教育活動支援事業	23,707	幼・小・中学校へ非常勤支援員配置
	笠岡市いじめ・不登校対策総合推進事業	13,506	不登校対策支援事業(6名配置) 巡回カウンセラー配置事業(6名配置)教育相談室 小1グッドスタート支援事業(7名配置)ほか
	営繕関係	57,680	新吉中防球フェンス増設工事, 神内小・笠岡西中トイレ洋式化等
	CMSによる学校ウェブサイト運用事業	272	市内全小・中学校(小北中含)
	理科観察実験アシスタント配置事業	2,001	笠岡小・中央小・金浦小・大井小に理科支援員2名を配置
	校務支援システム活用事業	4,698	城見小・吉田小・大島小・笠岡小・中央小・金浦小・大井小 笠岡東中・笠岡西中・金浦中・新吉中・大島中に整備(小北中含)
	通学バス運行委託料	2,812	大島小, 吉田小及び北木小の児童の通学
	校務員配置事業	5,400	幼・小・中学校の校務員業務(草刈・小修繕等)を委託
	AED機器借上料	1,024	小学校(19校), 中学校(7校), 幼稚園(5園)へ設置
	図書整備事業	10,836	小学校(5,569), 中学校(4,280), 幼稚園(987)
	教材備品整備事業	20,769	小学校(14,768), 中学校(6,001)
	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	39,953	小学校学用品等6,600, 中学校学用品等9,380 給食費23,973
	特別支援教育就学奨励事業	2,011	小学校学用品等333, 中学校学用品等307, 給食費1,371
	小学校における不登校対策実践研究事業	2,132	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援 登校対策支援員2名配置(笠岡小・中央小)
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	1,586	フラッシュ型教材を整備, 運用 全教員を対象に研修会を開催
	小・中学校コンピュータ室等整備事業	25,580	小・中学校のコンピュータ室, 特別教室, 全普通教室にコンピュータ・ソフトウェア・その他周辺機器を整備 小・中学校をイントラネットで結び教育ネットワークを整備
	放課後学習サポート事業	2,073	小学校4・5年生, 中学校2・3年生を中心に, その日の授業に関連した補充学習を, 非常勤講師や教員OB, 地域の識者等を指導者とし, 各学校の実態に応じて週1~5回, 各1時間程度実施
	小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	1,836	全18小学校区において, 地域の指導者等を講師に, 月1回程度 補充的・発展的な学習を実施
	小学校「いきいき交流スクール」事業	112	市内の複数の小規模校が学習を共に行うなど, 授業や宿泊研修を通じた学校間の交流活動を推進 神島外小-大島東小 白石小-北木小-真鍋小-六島小
	中学校「かさおかサマーチャレンジ学習支援」事業	161	高校進学を控えた中学3年生に夏季休業中, 数学及び英語の家庭学習をサポートする場を提供
	中学校「いきいきチャレンジたいけん」事業	258	市内中学校の2年生が, 学区内の事業所, 施設等で職場体験活動やボランティア体験活動を実施 参加生徒数 466人
大島小学校教室増設工事	10,030	小学校改造工事費(8,726), 施設備品購入費(1,304)	
学校施設耐震補強実施設計事業	31,912	今井小屋内運動場, 神島外小屋内運動場, 笠岡小教室棟・便所棟, 笠岡小管理・特別教室棟, 吉田小教室棟, 大島東小教室棟, 笠岡東中屋内運動場	
学校施設耐震補強施工監理事業	6,070	(H25-26)中央小管理・特別教室棟, 今井小管理・教室棟, 大島中屋内運動場, 北木中屋内運動場	

平成26年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	学校施設耐震補強工事	342,781	(H25-26)中央小管理・特別教室棟、今井小管理・特別教室棟、金浦小屋内運動場、城見小屋内運動場、大井小教室棟、笠岡小屋内運動場、北川小屋内運動場、大島中屋内運動場、北木中屋内運動場
	学校施設空調設備設置工事 実施設計事業	4,137	笠岡東中学校、金浦中学校、神島外中学校、富岡幼稚園、横江幼稚園
	笠岡市・矢掛町中学校組合 負担金	34,840	放送設備改修工事、防球ネット嵩上げ工事ほか
	就園奨励事業	1,685	2人目以降の幼稚園保育料の減免
	幼稚園就園奨励費補助事業	1,579	市立幼稚園保育料減免、私立幼稚園就園奨励費補助金
	幼稚園備品整備事業	1,415	園具・事務用備品の整備
	生涯学習事業	4,895	生涯学習推進本部事業、たくましい笠岡っ子、放課後子ども教室、生涯学習フェスティバル、学校支援地域本部、土曜日教育推進事業
	成人式	710	開催日 平成27年1月11日
	生涯学習諸学級開設事業	780	幼児学級、女性学級、成人学級、高齢者学級、チャレンジ学級
	人権教育自立促進事業	902	教育上配慮を必要とする幼児・児童・生徒の自立を支援
	文化振興事業	1,120	名月観賞の夕べ、菊花展、文化祭、芸能祭、写真展、さつき新緑展、市美術展、児童生徒美術展
	木山捷平文学選奨	1,900	第10回木山捷平文学選奨
	国民文化祭継承事業	318	能・狂言の体験学習を市内小中学校を対象に実施
	津雲貝塚調査事業	6,157	国史跡「津雲貝塚」保存のため、貝塚の範囲確認を目的とする発掘調査、過去の出土品調査等を実施
	原貝塚出土人骨復顔模型作成 事業	760	原貝塚から出土した縄文人骨をもとに、学術監修を受けて復顔模型1点を作成
	教育相談事業	13,839	児童・生徒及びその保護者等に対して相談、助言及び援助を実施 相談員4名配置
	青少年育成地区活動推進事業	882	環境浄化活動、補導活動、健全育成活動、広報啓発活動
	公民館活動助成事業	6,000	地区公民館20館 109事業
	公民館施設整備事業	7,952	トイレ改修(大島)、外壁塗装(今井、城見)、倉庫照明(笠岡東)ほか
		2,655	空調改修工事(笠岡東ほか4館)
	市民会館運営事業	28,692	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営を委託
	図書館運営事業	56,625	笠岡子ども司書養成講座、ブックスタート等
	図書館施設改修事業	20,952	図書館エレベーター設置事業(設計・工事)
	図書館情報システム更新事業	14,364	図書館情報システム更新
	カプトガニ博物館施設改修事業	11,089	カプトガニ博物館外壁塗装改修工事
		9,797	パリオニクス修繕(館内展示恐竜模型)
	カプトガニ博物館運営事業	65,466	カプトガニ保護対策事業、大量飼育事業、特別展など 特別展示「海—生命の歴史展」 特別陳列「追跡、カプトガニを追い！展」
	竹喬美術館運営事業	63,097	特別陳列「大正時代の竹喬」 特別展「新発見、再発見の竹喬」 特別陳列「日本の風景に詩心を求めて」 特別展「艶美の競演—東西の美しき女性」 特別陳列「待春—竹喬 芽生えへのまなざし」 特別展「没後60年 菊池契月展」 特別陳列「竹内栖鳳の系譜」
	竹喬美術館耐震診断事業	2,970	竹喬美術館本館の耐震診断を実施

平成26年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	真鍋島ふるさとふれあいセンター運営事業	3,325	交流学习・文化活動等を行う場を提供
	笠岡諸島開発総合センター運営事業	3,085	交流学习・文化活動等を行う場を提供
	スポーツ振興事業	4,707	べいふあーむ笠岡マラソン, カプトガニ駅伝等
	スポーツライフ推進事業	1,619	スポーツ教室, ニュースポーツ大会, スポーツ推進委員派遣
	体育施設管理事業	27,440	体育施設管理運営委託料 施設予約管理システム導入委託料
	海洋センター管理運営事業	9,500	施設の運営管理
	総合スポーツ公園体育施設管理運営事業	35,177	笠岡総合体育館, 笠岡陸上競技場, 多目的広場の運営管理
	テニスコート・クラブハウス整備事業	7,604	平成27年度整備予定のテニスコートの実施設計
	光波距離測定装置整備事業	3,704	やり投げ等の投てき競技の距離測定用の光波測定器を導入
	学校給食事業	205,709	小学校18校, 中学校10校(小北中含む)
	学校給食センター建設事業	6,490	整備手法等検討調査, 地質調査, 先進地視察

